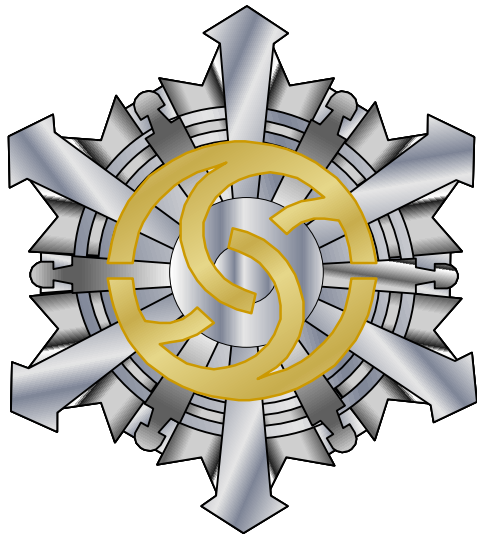


令和4年度

消防年報



下松市消防本部

(令和5年刊行)

は し が き

この消防年報は、本市消防における実態の概要を収録し、消防事情を紹介するために編集したものです。

なお、調製基準日については、それぞれ図表に記していますが、火災・救急、予防統計等については暦年とし、予算に関する統計は会計年度でとりまとめました。

この年報が、幅広く関係各位にご利用いただき、消防行政をご理解いただければ幸甚に存じます。

令和5年8月

下松市消防本部

管内情勢・総務

1 下松市の位置	3
2 消防本部・消防署の位置	3
3 消防庁舎の概要	4
4 下松市の概況	5
5 下松消防のあゆみ	8
6 歴代消防長、歴代消防団長	27
7 消防本部の組織図	28
8 人 事	
(1) 消防職員配置状況	29
(2) 消防職員階級別年齢	29
(3) 職員免許資格取得状況	30
(4) 在職年数別消防職員数	31
9 会 計	
(1) 一般会計消防費等の推移	31

予 防

1 防火対象物	
(1) 防火対象物の現況	35
(2) 建築同意事務の現況	36
(3) 各種届出受理件数	36
(4) 定期点検報告防火対象物数	37
2 防火管理	
(1) 防火管理資格取得講習会の実施状況	37
(2) 防火管理者資格付与延人員	37
3 危 険 物	
(1) 危険物施設の事務処理状況	38
(2) 危険物施設の現況	39
(3) 屋外タンク貯蔵所の容量別数	39

警 防

1 消防車両及び資機材	
(1) 消防車両配置図	43
(2) 消防車両等一覧表	44
(3) 消防用資機材一覧表	45
(4) 救急用資機材一覧表	45
(5) 救助用資機材一覧表	46
(6) 多重無線一覧表	47
(7) 無線局一覧表(デジタル)	47
(8) 無線局一覧表(アナログ)	47
(9) 無線通信系統図	48
2 通信指令室	
(1) 指令台	49
(2) 災害用高所監視カメラシステム	49
(3) 260MHz消防救急デジタル無線システム	49
3 消防水利	
(1) 消防水利の現況	50

火 災

1 火 災	
(1) 火災発生状況の比較	53
(2) 月別出火件数・損害額	54
(3) 原因別出火件数	54
(4) 時間帯別出火件数	55
(5) 過去10年間における出火件数の推移	55
(6) 過去5年間における出火原因の推移	56
(7) 過去5年間の出火件数、焼損面積及び損害額の比較	56
(8) 市内における過去の主な火災	57

救 急 ・ 救 助

1 救 急	
(1) 救急業務の状況	65
(2) 時間別救急出場件数	66
(3) 曜日別救急出場件数	66
(4) 月別救急出場件数及び搬送人員	67
(5) 事故種別医療機関搬送人員	68
(6) 傷病程度別・年齢区分別搬送人員	69
(7) 過去5年間の種別出場件数及び搬送人員	70
(8) 過去10年間の救急出場状況の推移	70
(9) 過去5年間の心肺蘇生実施数と救急救命士による特定行為実施数	71
(10) 過去5年間の心肺蘇生実施状況	71
2 救 助	
(1) 救助業務の状況	72
(2) 過去5年間の種別出場件数及び救助人員	73
(3) 救助出動状況	73

消 防 団

1 消 防 団	
(1) 消防団組織図	77
(2) 分団別及び在職年数別消防団員数	77
(3) 年齢別及び階級別消防団員数	78
(4) 消防団消防機庫の状況	79
(5) 消防団車両等一覧表	80

そ の 他

1 応援協定の締結状況	83
2 下松市防火委員会組織と現況	84

管内情勢・総務

2023年度全国統一防火標語

『 火を消して 不安を消して つなぐ未来 』

消防訓

(平成7年1月4日制定)

われらは市民に信頼され親しまれる

消防をめざし

- 心身・技能の鍛練に努める
- 規律ある明るい職場をつくる
- 時代の変化に即応し得る能力を養う

1 下松市の位置

(R5-4-1)

面積	人口	世帯数	位置
89.34平方キロメートル	56,932人	26,770世帯	東経131度52分、北緯34度00分

山口県の南東部に位置し、東は光市、北及び西は周南市に接し、南は瀬戸内海に臨んでいる東西12.72km、南北20.62kmの地形をした都市である。また、下松港（笠戸湾）は笠戸島と大島半島に囲まれた波静かな天然の良港である。（笠戸島の周囲＝36km）



2 消防本部・消防署の位置

名称	住所
下松市消防本部	下松市大字河内1950番地
下松市消防署	同上

3 消防庁舎の概要

(1) 庁舎の概要

竣工年月	平成28年3月3日
位置	下松市大字河内1950番地
敷地面積	9,426.46㎡
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上3階建て
建築面積	1,323.06㎡
延べ面積	2,794.59㎡

(2) 倉庫・車庫等の概要

構造	鉄骨造
階数	地上2階建て

(3) 訓練塔の概要

・主訓練塔	構造	鉄骨造
	階数	地上5階建て
・副訓練塔	構造	鉄骨造
	階数	地上3階建て

(4) 庁舎全景



4 下松市の概況

下松市は、昭和14年11月3日、当時の下松町を中心に花岡村、久保村、末武南村を合併して人口33,122人、面積62.9平方キロメートル、全国で143番目、山口県下では下関、宇部、山口、萩、徳山、防府につぐ7番目の都市として誕生した。その後、昭和29年11月1日に都濃郡米川村を編入し、さらに昭和37年4月1日に都濃郡都濃町滝ノ口を境界変更により本市の区域に編入して、面積89.34平方キロメートルの都市となった。旧下松町は、旧末武南村とともに、古くから瀬戸内海沿岸に発達した漁村と塩田の集落であった。特に毛利藩になって、その殖産興業（三白政策）財政策の一環として行われた干拓事業により、貞享年間（1684年～1687年）から沿岸の開作が次々に行われ、この塩田から生産された良質の塩は、藩政時代を通じて鳥取藩などの御用塩として移出された。それとともに、鳥取藩などの特産品との交易も盛んになり、相互の商品運送のため船舶の出入りがはげしく、製塩の町というだけでなく商業の町としても隆盛を極めた。また、旧花岡村の生野屋は、古代（奈良、平安時代）の山陽大路の重要な宿場として栄え、近世（江戸時代）には、花岡は久保市とともに中国路の宿場町となり、大名や武士の休泊所としての本陣もあった。花岡には都濃郡宰判の勘場（代官所）も置かれ、ここでは郡地における民政、勸農、徴税、治安等の要務が行われた。

文化財としては、花岡八幡宮境内に藤原鎌足の建立と伝えられ、建築様式から室町時代の中期から後期にかけての建造と推定される国指定重要文化財「多宝塔」があるほか、享和2年（1802年）に宮ノ洲古墳が発掘、国指定重要文化財「盤龍鏡」等が発見されている。

第一次世界大戦最中の大正6年、久原房之助氏が東豊井の宮ノ洲浜一帯を買収して久原工場（久原工場は程なく日本汽船株式会社が引継ぎ、さらに大正10年株式会社日立製作所笠戸工場が継承）を設立し、これによって本市は工業都市への第一歩を踏み出した。大正7年12月笠戸島船渠株式会社（現在の株式会社新笠戸ドック）、さらに昭和5年4月に日本石油株式会社下松製油所（現在のENEOS(株)下松事業所）、昭和9年4月に東洋鋼板株式会社下松工場が相次いで操業を開始し、これら大企業と関連企業の進出によって、臨海工業都市としての形態を整え発展した。しかし、第二次世界大戦の爪あとは本市にも大きく残り、特に終戦の年の昭和20年6月と7月に米軍機は本市工業地帯を空襲、多くの死傷者を出すとともに、産業施設も多大な損害を受けた。終戦後、平和産業もようやく軌道に乗り始めた昭和25年1月、日本石油精製株式会社下松製油所が操業を再開、原油船の第一便が下松港に入港するなど工業都市の息吹をみせてきた。昭和30年12月に貯水容量452万トンの温見ダムが完成し、昭和39年9月には周南工業整備特別地域の指定を受け、昭和40年4月に徳山下松港の特定重要港湾の指定などとあいまって、産業基盤の整備は一層進み、本市の臨海工業都市としての機能はさらに充実した。新幹線車両、化学プラント、ブリキ、薄板、造船、金属

属加工、機械部品、半導体産業などの大企業と関連の中小企業が進出し、多角的な重化学工業都市として成長発展を遂げるに至った。

本市は、工業都市としての発展と都市化の進展に並行して、近年、上下水道、公園、道路、教育・文化・スポーツ施設、社会福祉施設、保健施設などの公共施設の充実整備が急速に進められることとなった。本市最大の久保住宅団地の造成は、昭和58年3月に完成し、久保地域の活性化に寄与している。また、貯水容量1,957万トンの末武川ダム「米泉湖」は平成3年度に完成し、本市の水不足は解消されるとともに、ダム周辺の自然環境を生かした公園としても大いに活用されている。自然環境に恵まれている瀬戸内海国立公園笠戸島には、昭和45年11月に笠戸大橋が架橋され、宿泊施設、レクリエーション施設などが整備、平成2年5月には笠戸高山生活環境保全林が開園、平成3年7月には家族旅行村がオープンするなど本市はもちろん、周南地区のリゾート基地として大きな役割を果たしている。

一方、臨海工業都市の性格を持つ本市は、二度にわたるオイルショックや構造不況の影響を受け、昭和50年代後半には主要事業所の撤退等により、地域経済の衰退を余儀なくされてきた。このような産業構造から脱却するため、新規事業への展開を進めるとともに、第3次産業の振興を図るため、中央町北広場に商業と文化・健康の県東部最大級の複合施設「ザ・モール周南」、「スターピアくだまつ」、「保健センター」を平成5年11月にオープンし、その後、末武地区に大規模店舗「サンリブ」等商業施設の進出を促進させた。また、下松駅南地区では、商業活性化を促進するため、駅南地区都市活力再生拠点整備事業（リジューム計画）を推進している。さらに、山陽自動車道の開通に併せ、久保地区73haに物流と工業団地とを併設した周南工流シティーの造成工事が平成6年3月に完成し、雇用や人口定住促進に大きな役割を果たしている。

そのほか、平成7年10月には周南地区衛生施設組合のごみ焼却施設「恋路クリーンセンター」の操業を開始し、焼却余熱を平成8年9月に完成した屋内温水プール「アクアピアこいじ」に供給し、エネルギーとして地域への還元を行うとともに、その後、その一帯は下松スポーツ公園として整備された。また、新しい保健、医療、福祉、生きがいの総合的な拠点としての「ふくしの里」の整備事業が進められ、平成12年6月に「第2しょうせいえん」、「特別養護老人ホーム」、「地域交流センター」、「サルビアの家」、「周南記念病院」等が完成した。平成17年には国民宿舎大城内に、笠戸島大城温泉「潮騒の湯」として絶景を臨む露天風呂をオープンし、平成18年11月の下松市駅南市民交流センター「きらぼし館」、平成24年5月の下松市市民交流拠点施設「ほしらんどくだまつ」建設により、生涯学習機能の強化、地域コミュニティ活動の拠点とし、市民の学習や活動支援の充実に役立っている。平成21年11月には「下松市農業公園」が開園し、農業を通して土に親しみ、植物の生育と土との関係、自然の仕組みや食料の大切さについて理解を深める機会を提供するために、食育活動や自然体験の拠点、として活用されている。ソフト面では心豊かな

人づくり事業の一環として、童謡を口ずさむ「星のふるまち童謡フェスタ」「日本一の花のまち」づくりなど『笑いと花と童謡のまち』をキャッチフレーズとし、平成17年4月に下松市安全安心まちづくり条例を制定し、市民が安全で安心して生活することができる地域社会の実現を目指している。

また、平成28年11月に笠戸島の国民宿舎大城がグランドオープン、平成30年10月には「ザ・モール周南」の施設が改装され、「ゆめタウン下松」がグランドオープンし、観光産業の発展による地域社会・経済の活性化や商業の更なる活性化が期待されている。また、令和2年2月には下松市栽培漁業センターがリニューアルされ、令和3年2月に愛称が「ひらめきパーク笠戸島」に決定した。令和5年8月7日には来館者10万人に達し、多くの人々に親しまれ、賑わいを見せている。令和3年6月には、東洋経済新報社発表の「住みよさランキング2021」で全国812市区中10位に選ばれ、市民が安全に安心して生活することができる地域社会の実現に向け、飛躍し続けている。

さらに、令和4年7月には、市指定史跡「天王森古墳」周辺で、武具や人、家などの形象埴輪群が国内最上級の依存状態で見つかったことが発表され、第一弾として復元した大刀形埴輪が公開された。この大刀形埴輪は全長120cmで、西日本では出土例が少なく、全形で復元されたのは、中国・四国・九州地方では初であり、天王森古墳の被葬者が、当時の王権から埴輪づくりの工人を派遣してもらえるほどの有力者であることが推測されるということもあり、今後の研究に期待がかかる。

5 下松消防のあゆみ

久保村

明治18年4月より久保村に巡査駐在所をおく。当時の下松警察署轄内にあり、本村には消防の設備として従来各部落にバケツを集めて非常時に使用した。明治35年2月20日久保市消防組が組織され、役員38名、組員78名(計116名)、手押ポンプ1台、バケツ34個で設立。昭和5年12月20日久保村消防組(1部と2部)が組織され、消防組頭石田俊雄以下68名で、機材は手押ポンプ2台、バケツ40個公設消防組となり面目を一新した。昭和8年11月第3部を吉原方面に設け、久保村消防組が完備した。(久保村郷土誌より)

末武南村

明治43年11月に大海町壮年団消防組を組織し組頭武居伴助、役員6名にて設立された。明治44年1月大海町青年会消防組と改称され、大正2年2月には西市消防組を、同5年5月には平田消防組を設置、大正8年11月に大海町青年会消防組に東開作及び西開作を編入、大正9年6月8日に末武南公設消防組が設置され、大海町第1部、西市第2部、平田第3部と改称。大正12年12月笠戸及び端浦に第4部、深浦及び端浦に第5部、江の浦に6部を設置。昭和13年11月20日組頭内山昇一以下215名、ガソリンポンプ1台、手押ポンプ6台で組織。(末武南村郷土誌及び大下松大観より)

花岡村

大正5年5月に弘中彦三郎主唱幹旋の下に、私設花岡消防組が設置された。大正12年公設消防組となり、組頭風井晋一以下68名で設立された。(花岡郷土誌より)

米川村

昭和12年11月26日に公設米川消防組が組織された。組頭山本茂作以下62名で機材腕用ポンプ1台、その他の諸器具を備え設立された。(都濃郡米川村誌より)

公設消防組

明治23年秋、熊野熊吉により、初めて私設消防組が組織され、明治30年10月22日豊井消防組として公設、明治34年3月1日下松町消防組と改称、明治41年大改造を経て、昭和13年11月20日4部に分かれ組頭渡辺友一以下164名、自動車ポンプ1台、ガソリンポンプ4台、手押しポンプ4台を備え設立された。(大下松大観より)

警防団令

昭和14年4月1日勅令第20号「警防団令」が公布。これにより、永い歴史と伝統をもつ消防組は「下松警防団」と改称された。

下松市制

昭和14年11月3日下松町(町長 弘中伝人)、花岡村(村長 佐藤馬太)、久保村(村長 石田俊雄)、末武南村(村長 植杉佐武郎)を合併し、下松市制施行(面積62.9平方キロメートル、戸数6,807戸、人口33,122人)。

消 防 団 令

昭和22年4月10日勅令第202号「消防団令」が公布され、戦前から消防の任務に当たってきた「下松警防団」は改称され、同年7月5日「下松市消防団」に組織替えされ、消防団長に渡辺友一就任。

自 治 体 消 防

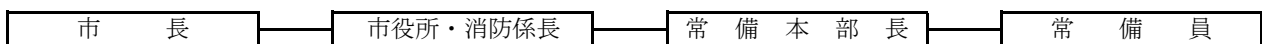
昭和23年3月7日消防組織法(昭和22年法律第226号)の施行により、警察機構から分離し、自治体消防の発足となった。昭和23年8月1日、新しい消防は組織のうえにおいて、自治体消防となったばかりでなく、その業務の遂行上、火災防ぎよ面だけでなく、広範な火災予防行政をもつこととなり消防法が施行された。

以下、下松消防の今日までを年代順に略記します。

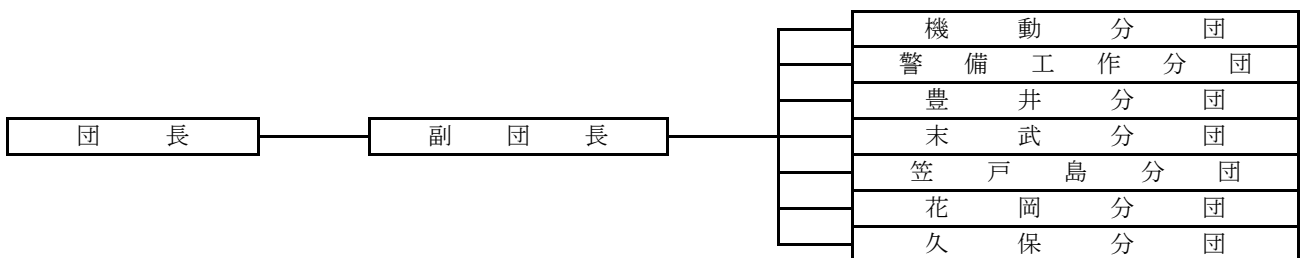
昭和24年

- 9. 19 下松市消防本部庁舎落成(構造 木造モルタル造、延面積151.8㎡、工事費1,176千円)
- 10. 7 「下松市消防本部」設置、消防団編成替え第1分団を「機動分団」、「警備工作分団」に再編改称 第2分団～第6分団を「豊井分団」、「末武分団」、「笠戸島分団」、「花岡分団」、「久保分団」にそれぞれ改称

1 本部の組織



2 団の組織



3 人員及び機材

	人 員	普通ポンプ自動車	三輪ポンプ車	ガソリンポンプ	腕用ポンプ	四輪小型トラック
本 部	8 名	2	-	-	2	1
団	3 5 8 名	-	1	4	6	-

昭和25年

- 8. 20 下松市役所庁舎落成

昭和26年

- 3. 1 初代消防長に下松市助役高田秀次就任
- 4. 1 下松市消防署設置、初代署長藤尾嘉市就任
- 4. 1 下松市消防団員の定員、任免、給与、服務に関する条例制定 消防団員定数400人
- 7. 28 初代消防団長に林谷育造就任
- 7. 31 第2代消防長に武居常雄就任
- 8. 1 普通消防ポンプ自動車を「若水号」と命名し配備

昭和27年

7. 1 国家消防庁を国家消防本部に改称

昭和28年

2. 11 日本消防協会長より機関表彰旗授与

昭和29年

3. 7 国家消防本部長より機関表彰竿頭授与

10. 1 警察と消防相互間の援助協力協定締結

10. 11 普通消防ポンプ自動車を「妙見号」と命名し配備

11. 1 米川村編入合併、米川村消防団を米川分団に改称

昭和30年

2. 4 消防三輪ポンプ自動車を末武分団に配備

4. 25 消防無線電話装置設置

7. 4 山口県総合水防演習(新町・下松港)

12. 5 下松市消防団員の定員、任命、給与、服務に関する条例改正 団員定年55歳

昭和31年

1. 21 消防三輪ポンプ自動車を豊井分団に配備

3. 7 山口県知事より機関表彰竿頭授与

11. 20 消防団員等公務災害補償等共済基金法施行

昭和32年

1. 7 消防三輪ポンプ自動車を花岡分団に配備

3. 10 山口県大火防ぎょ演習を市街地で実施

4. 1 消防団員等公務災害補償等共済基金と共済契約を締結

6. 4 消防三輪ポンプ自動車を久保分団に配備

6. 13 第3代消防長に下松市助役河口登就任

11. 19 水槽付消防ポンプ自動車を「八幡号」と命名し配備

昭和33年

3. 7 消防組織法施行10周年記念日にあたり、国家消防本部長から表彰旗授与

4. 10 普通自動車(ライトバン)を「指令車」と命名し配備

5. 30 周南三市(徳山、光、下松)消防相互応援協定締結

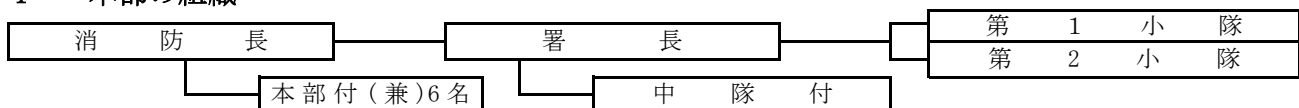
12. 24 消防三輪ポンプ自動車を米川分団に配備

昭和34年

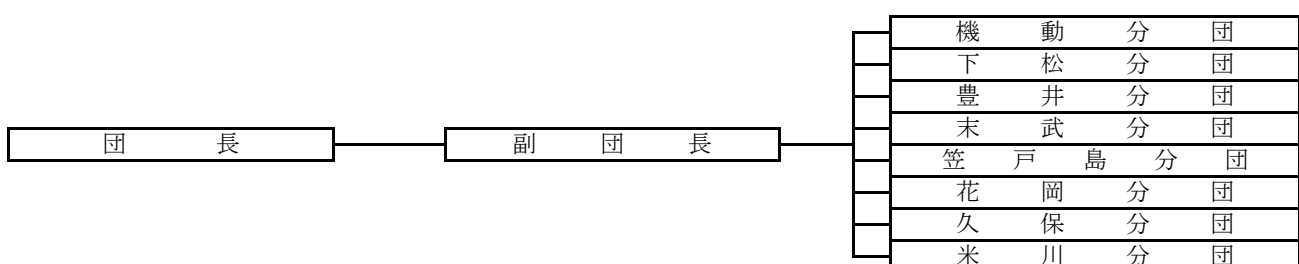
4. 30 第4代消防長に下松市長河口登就任

6. 9 「警備工作分団」を「下松分団」に改称

1 本部の組織



2 団の組織



3 人員及び機材

	人員	水槽付消防ポンプ自動車	普通消防ポンプ自動車	指令車	三輪ポンプ車	小型動力ポンプ
本部	28名	1	3	1	-	2
団	379名	-	-	-	-	16

9.30 「危険物の規制に関する政令」施行

昭和35年

- 7. 1 自治省の外局として消防庁の発足
- 8. 1 下松市危険物の規制に関する規則施行

昭和36年

- 4. 1 消防法第8条の全面改正により防火管理者の設置と業務が規定、施行
- 4.28 第10回山口県消防大会を下松中学校校庭で開催
- 4.28 日本損害保険協会より普通消防ポンプ自動車を寄贈され「損保号」と命名し配備
- 7.13 徳山海上保安部と業務協定締結
- 10. 4 山口県消防ポンプ操法大会で消防署(応急操法の部)消防団(応急操法の部)優勝

昭和37年

- 7. 1 下松市火災予防条例並びに同施行規則施行
- 10. 9 山口県消防ポンプ操法大会で消防団(自動車ポンプ応急操法の部)優勝

昭和38年

- 3.16 下松市防災会議条例並びに下松市災害対策本部条例施行
- 4.15 消防法一部改正 救急業務が法制化され、救急業務の実施が義務付けられた
- 5. 1 第5代消防長に下松市助役山中健三就任
- 8.20 山口県消防ポンプ操法大会で消防署(応急操法の部)消防団(自動三輪車ポンプ操法の部)優勝

昭和39年

- 6. 8 第6代消防長に藤尾嘉市就任
- 9. 1 消防本部組織を4課制に改組
- 11.16 普通消防ポンプ自動車を「若水号」と命名し配備
- 11.16 普通消防ポンプ自動車を下松分団に配備
- 11.28 消防総合演習を(株)日立製作所宮前住宅広場において消防署、消防団及び(株)日立製作所、東洋鋼鉄(株)、日本石油精製(株)下松製油所の各消防隊の参加により実施

昭和40年

- 2. 1 市内工場(日立、日石、鋼鉄、ドック)と消防相互応援協定締結
- 5.24 下松市危険物安全協会設立会員30名、山口県危険物連合会に加入

昭和41年

- 6. 1 消防無線設置(基地局、下松11、下松21)
- 11. 1 救急業務開始(9月20日救急自動車を配備し無線下松12を設置)
- 11.27 危険物安全協会による第1回消火器競技大会開催

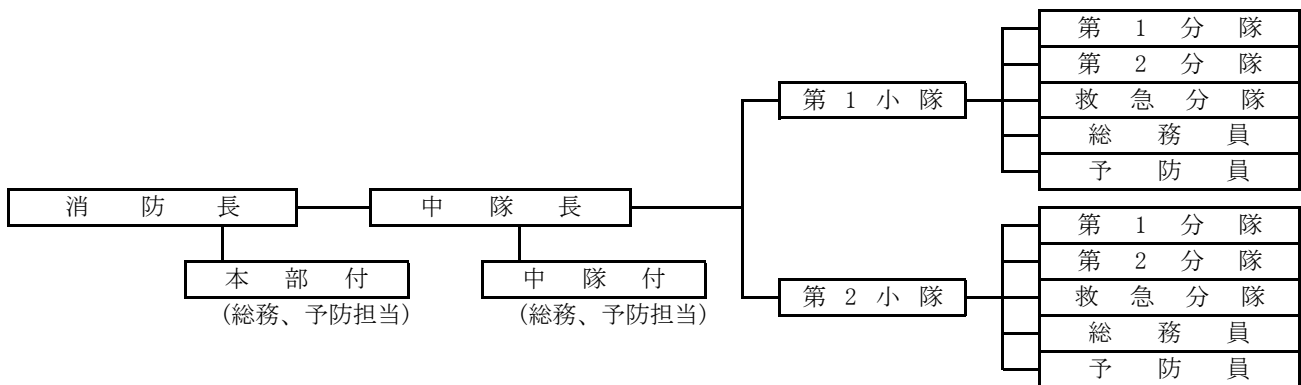
昭和42年

- 4. 1 定数条例改正消防職員41名
- 9. 15 山口県大火防ぎょ演習を市街地で実施
- 11. 3 秋の叙勲 原田勝美氏受章

昭和43年

- 2. 21 消防庁舎起工式
- 3. 7 自治体消防発足20周年記念式典(東京)
- 4. 1 第7代消防長に渡辺浮人就任
- 7. 11 消防本部の組織を改組担当制とした

1 本部の組織



2 人員及び機材

	人 員	水槽付消防ポンプ自動車	四輪ポンプ車	三輪ポンプ車	小型ポンプ	三輪作業車	ジープ	救急自動車	無 線
本 部	40名	1	3	-	1	-	2	1	4
団	380名	-	1	4	20	2	-	-	0

- 8. 30 新庁舎に移転
- 9. 25 新庁舎落成式

昭和44年

- 4. 1 消防吏員の階級副士長制度採用
- 4. 29 春の叙勲 西川新助氏受章
- 6. 1 徳山海上保安部との業務協定を一部改正し、再締結
- 9. 2 普通消防ポンプ自動車「妙見号」を更新配備
- 12. 29 「工作車(軽四トラック)」を配備

昭和45年

- 4. 29 春の叙勲 阿部勝治氏、早川盛蔵氏受章
- 5. 10 水槽付消防ポンプ自動車を「北斗号」と命名し配備
- 7. 28 日本船舶振興会より救急自動車寄贈
- 12. 17 小型動力ポンプ付積載車3台を豊井分団二宮町部、末武分団大海町部、笠戸島分団江の浦部に配備
- 12. 18 小型動力ポンプ付積載車を花岡分団花岡部に配備

昭和46年

- 3. 24 化学消防車を「鷲頭号」と命名し配備

昭和46年（続き）

- 4. 1 定数条例改正消防職員50名
- 4. 29 春の叙勲 岩崎清一氏受章
- 7. 28 日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車を寄贈され「八幡号」を更新配備
- 8. 10 周南地区化学消火薬剤共同備蓄会加入
- 12. 25 小型動力ポンプ付積載車2台を末武分団西市部、米川分団下谷部に配備

昭和47年

- 4. 1 定数条例改正消防職員51名
- 4. 19 京浜工業㈱より化学消火薬剤タンク(5,000ℓ)の寄贈を受け庁舎屋上に設置
- 11. 3 秋の叙勲 松本政喜氏受章
- 11. 23 集団発生救急医療対策訓練を実施(消防署、消防団、下松市、警察署、下松医師会、国鉄)
- 12. 27 小型動力ポンプ付積載車2台を豊井分団豊恋部、末武分団平田部に配備

昭和48年

- 1. 5 普通消防ポンプ自動車を「鼎号」と命名し配備
- 3. 7 山口県知事より機関表彰旗授与
- 5. 11 第22回山口県消防大会を下松市体育館で開催
- 9. 18 山口県消防ポンプ操法大会で消防署(応急自動車ポンプ操法の部)消防団(応急小型動力ポンプ操法の部)優勝
- 10. 15 米寿叙勲 渡邊友一氏受章

昭和49年

- 1. 30 日本自動車工業会より救急車寄贈
- 3. 26 小型動力ポンプ付積載車2台を久保分団大河内部、花岡分団生野屋部に更新配備
- 3. 30 林谷団長、日本消防協会副会長に就任
- 4. 1 定数条例改正消防職員55名
- 5. 8 普通消防ポンプ自動車を「荒神号」と命名し更新配備
- 11. 3 秋の叙勲 藤尾弘一氏受章

昭和50年

- 1. 28 三菱石油水島製油所大量流出油事故により市内の屋外タンク253基総合点検実施
- 3. 10 24m級はしご付消防ポンプ自動車を「青柳号」と命名し配備
- 4. 1 定数条例改正消防職員60名
- 4. 29 春の叙勲 林谷育造氏受章
- 9. 10 全国消防救助技術大会水上の部(水中検索B種目)優勝
全国消防救助技術大会陸上の部(応用登はん)出場
- 12. 23 小型動力ポンプ付積載車を花岡分団中村部に配備

昭和51年

- 2. 27 普通自動車(ライトバン)を「連絡車1号」と命名し配備
- 4. 1 下松市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例改正 消防団員定員360人
- 5. 15 第8代消防長に磯村寿夫就任
- 7. 14 石油コンビナート等災害防止法の施行に伴い、下松地区特別防災区域に指定

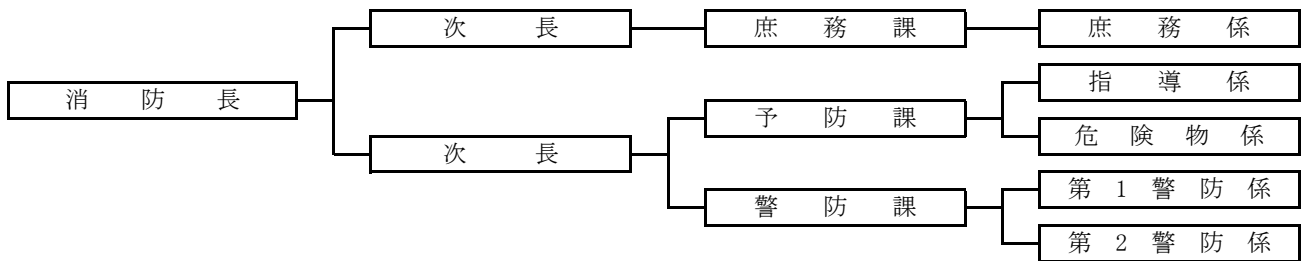
昭和52年

- 3. 12 県より泡放射砲車及び泡原液搬送車譲渡され「瀬戸号」「城山号」と命名し配備
- 4. 1 定数条例改正消防職員55名
- 4. 29 春の叙勲 松村始氏受章

昭和52年（続き）

6.10 消防本部組織を3課制に改組

1 本部の組織



2 人員及び機材

	人員	ポンプ付自動車	水タンク付自動車	普通通自動車	消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	大型化学消防車	泡原液搬送車	泡放射砲車	救急自動車	査察車	工作車	積載車	連絡車	付小型積力ポンプ	小型動力ポンプ
本部	54名	2	4	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	-	-
団	314名	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	9

7.11 石油コンビナート等災害防止法にもとづき下松地区特別防災区域協議会発足

昭和53年

- 1.31 小型動力ポンプ付積載車を笠戸島分団深浦部に配備
- 2. 1 石油コンビナート等災害防止法にもとづく県内特別防災区域指定市間で消防相互応援締結
- 4. 1 定数条例改正消防職員52名
- 4.15 第9代消防長に橋本清之就任
- 4.29 春の叙勲 澄川七五郎氏受章
- 8. 1 周南5市消防相互応援協定を改正再締結

昭和54年

- 3. 1 救急自動車を「救急車1号」と命名し更新配備（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
- 4. 1 定数条例改正消防職員51名
- 4.29 春の叙勲 末藤藤香氏受章
- 5.13 市制施行40周年、消防本部設置30周年記念事業として、第1回下松市消防競技大会開催（消防署、消防団、企業自衛消防隊）
- 7.14 石油コンビナート等災害防止法にもとづく下松地区共同防災組織として（有）下松共同防災センターが設置される
- 8. 1 第2代消防団長に田村元輔就任
- 11.20 下松市少年婦人防火委員会を設立
- 11.28 深浦小学校少年消防クラブ及び深浦地区婦人防火クラブ発足
- 11.29 米川小学校少年消防クラブ及び米川地区婦人防火クラブ発足

昭和55年

- 2. 13 山口県防災行政無線開局
- 3. 6 花岡小学校少年消防クラブ発足
- 3. 30 屈折大型高所放水車(24m級)「天王号」、大型化学消防車「鷲頭号」を配備
- 3. 30 消防救急指令装置(119番回線の応答及び自動通報)設置
- 4. 25 末武川漁業協同組合より普通消防ポンプ自動車を寄贈され「若水号」を更新配備
- 4. 29 春の叙勲 大木祝氏受章
- 5. 11 第2回下松市消防競技大会開催
- 12. 31 西市、藤井武士氏よりサイレン自動吹鳴装置寄贈

昭和56年

- 3. 26 救急医療情報システム運用開始
- 3. 31 豊井分団本浦部に消防機庫新築、小型動力ポンプ付き積載車を配備
- 4. 11 第3回下松市消防競技大会開催
- 5. 15 山口県生命建物共済農協共同組合連合会より普通自動車を寄贈され「指令車」と命名し配備
- 4. 29 春の叙勲 赤尾吉太氏受章
- 8. 1 第3代消防団長に下瀬一男就任
- 8. 4 山口合同ガス(株)徳山支店及び山口県LPガス協会下松支部と消防本部で「ガス漏れ及び爆発事故の防止対策に関する申し合せ」に調印
- 9. 18 山口県消防操法大会(応急の部)において消防署チームは最高タイムで入賞
- 9. 25 日本消防協会より普通自動車を寄贈され「査察車」と命名し配備
- 9. 30 末武分団西市部消防機庫改築(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 10. 23 普通消防ポンプ自動車を下松分団に更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 11. 26 石油コンビナート等災害防止法に基づき、特定事業所及び(有)下松共同防災センターとのタンク火災想定総合防災訓練を中国電力(株)下松発電所で実施
- 12. 17 豊井分団二宮町部消防機庫改築(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 12. 30 「工作車(軽四トラック)」を配備

昭和57年

- 1. 7 米川婦人防火クラブ軽可搬ポンプ(コミュニティー助成金 宝くじ)を配備
- 4. 25 第4回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 春の叙勲 田村元輔氏受章
- 10. 26 山口県石油コンビナート等総合防災訓練実施(中国電力(株)下松発電所)

昭和58年

- 2. 28 米川トンネル開通に伴う防災施設警報盤設置
- 3. 31 久保分団久保市部、切山部の消防機庫新築及び切山部に小型動力ポンプ付積載車を配備
- 4. 24 第5回下松市消防競技大会開催
- 10. 3 深浦婦人防火クラブ軽可搬ポンプ(コミュニティー助成金 宝くじ)を配備
- 10. 12 日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車を寄贈され「八幡号」を更新配備
- 11. 7 秋の叙勲 浅原繁雄氏受章
- 11. 21 第10代消防長に河村敏雄就任
- 11. 28 「妙見号」を更新配備
- 12. 20 日本自動車工業会より救急自動車を寄贈され「救急車2号」と命名し更新配備

昭和59年

- 1. 26 下松市長と下松ライオンズクラブ会長との間に「献眼に関する覚書」調印
- 4. 1 消防訓練場を中国電力(株)から借用
- 4. 22 第6回下松市消防競技大会開催
- 7. 16 第11代消防長に磯村寿夫就任
- 10. 1 消防本部「庶務課」を「総務課」と課名変更
- 11. 3 秋の叙勲 藤井七郎氏受章

昭和60年

- 4. 21 第7回下松市消防競技大会開催
- 7. 12 下松市庁舎落成式
- 7. 30 下松市庁舎屋上にサイレン新設及び無線による起動装置設置
※無線基地局1基増設及び無指向性アンテナに改善
- 7. 30 消防庁舎屋上に化学消火薬剤タンクを10,000タンクに更新及び気象観測所設置
- 11. 26 下松慈光幼稚園幼年防火クラブ及び久保幼稚園幼年消防クラブ発足

昭和61年

- 1. 6 米川分団赤谷部の消防機庫新築及び小型動力ポンプ付積載車を配備
- 1. 31 林野火災用小型高圧ポンプ配備
- 2. 8 消防署通信指令室(30㎡)増築
- 2. 8 庁舎全般の電話システムをP B X (構内交換設備)に改善
- 4. 20 第8回下松市消防競技大会開催
- 6. 27 妹背幼年防火クラブ発足

昭和62年

- 2. 20 「工作車1号(普通トラック)」配備
- 3. 3 米川分団大藤谷部の消防機庫新築及び小型動力ポンプを配備
- 4. 19 第9回下松市消防競技大会開催
- 7. 16 第12代消防長に柳秋正就任
- 8. 4 第16回中国地区消防救助技術指導会陸上の部(ロープブリッジ救出)に出場

昭和63年

- 2. 8 第13代消防長に角俊文就任
- 2. 20 花岡分団花岡部の消防機庫(移設)新築
- 3. 22 水槽付消防ポンプ自動車を「北斗号」、普通消防ポンプ自動車を「荒神号」と命名し更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 4. 17 第10回下松市消防競技大会開催
- 6. 24 末光幼稚園幼年防火クラブ発足
- 8. 22 日本消防協会より小型動力ポンプ付積載車を寄贈され、久保分団久保市部に更新配備

平成元年

- 2. 8 叙位・叙勲 山根義雄氏受章
- 2. 10 日本消防協会長より竿頭授授与
- 4. 23 下松市消防本部開設40周年記念第11回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 春の叙勲 内山秀夫氏受章
- 5. 22 小型動力ポンプ(ラビットP508RS) B-2級52 P S 冷却水循環方式を消防署に更新配備
- 8. 1 第4代消防団長に田中武雄就任
- 11. 6 花岡分団花岡部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備
- 12. 8 日本防火協会より防火広報車を寄贈され配備
- 12. 28 「連絡車2号(普通自動車)」を配備

平成2年

- 3. 31 久保分団大河内部の消防機庫移設
- 4. 22 第12回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 春の叙勲 下瀬一男氏受章
- 7. 27 高所放水車「天王号」オーバーホール実施(ハツタ山口)
- 8. 9 第19回中国地区消防救助技術指導会陸上の部(ほふく救出)に出場

平成2年（続き）

- 8. 24 「連絡車1号(普通自動車)」を配備
- 9. 27 第37回山口県消防操法大会応急操法小型ポンプの部 豊井分団優勝
- 11. 7 末武分団大海町部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備

平成3年

- 3. 2 日本自動車工業会より救急自動車を寄贈され「救急車1号」を更新配備
- 4. 1 中国自動車道及び山陽自動車道における消防相互応援協定(9市8町5地区消防組合)締結
- 4. 21 第13回下松市消防競技大会開催
- 7. 19 第20回中国地区消防救助技術指導会陸上の部(ほふく救出)に出場
- 7. 31 救急、救助器具(油圧カッター)を配備
- 9. 24 「工作車2号(軽四トラック)」を更新配備
- 9. 24 豊井分団二宮町部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備

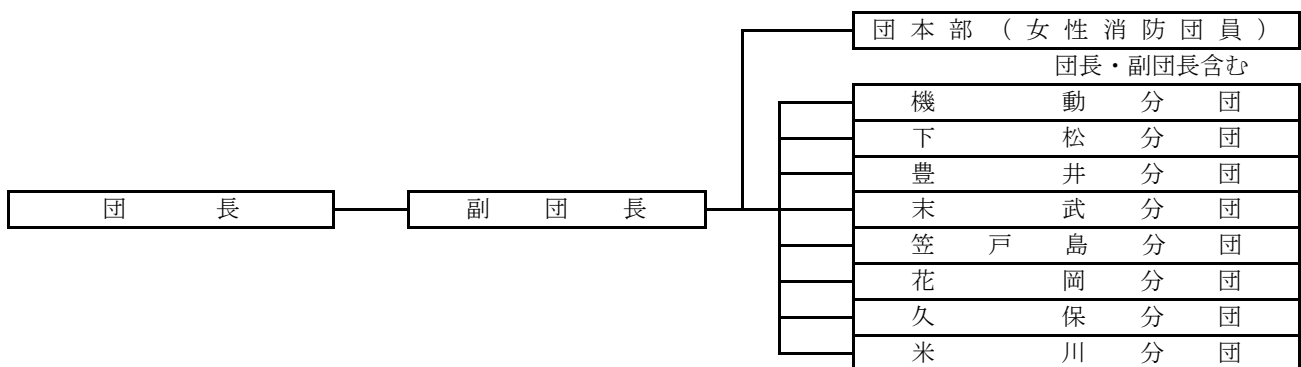
平成4年

- 4. 26 第14回下松市消防競技大会開催
- 6. 25 中国自動車道及び山陽自動車道における消防相互応援協定(10市10町6地区消防組合)締結
- 7. 23 「査察車(普通自動車)」を更新配備
- 7. 24 第21回中国地区消防救助技術指導会陸上の部(ほふく救出)に出場
- 10. 3 笠戸島分団江の浦部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備
- 11. 3 秋の叙勲 谷島喜治氏受章

平成5年

- 3. 29 末武分団平田部の消防機庫新築(33㎡)
- 4. 1 定数条例改正消防職員53名
- 4. 1 第14代消防長に小田政光就任
- 4. 25 第15回下松市消防競技大会開催
- 9. 17 末武分団平田部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備
- 11. 2 山口県石油コンビナート等総合防災訓練実施(中国電力(株)下松発電所)
- 11. 12 女性消防団員(14名)任用

1 団の組織



平成6年

- 4. 24 第16回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 春の叙勲 相本宗一郎氏受章
- 5. 1 「母体・新生児救急マニュアル」に係る救急業務相互応援協定(7市1町8地区消防組合)締結
- 5. 19 第43回山口県消防大会開催(スターピアくだまつ)
- 7. 28 第23回中国地区消防救助技術指導会陸上の部(ロープ登はん)に出場
- 9. 9 普通救命講習開始
- 9. 27 米川分団下谷部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備
- 9. 29 日本消防協会より救急自動車を寄贈され「救急車1号」を更新配備

平成7年

- 1. 17 阪神・淡路大震災が発生(震源地：淡路島、M7.2、震度6)
- 1. 25～2. 1 阪神・淡路大震災における救急活動に山口県災害医療支援団として救急隊を派遣
- 3. 7 山口県知事より竿頭授与
- 4. 1 消防本部組織改組 警防課を3係制とした(現行組織図)
- 4. 23 第17回下松市消防競技大会開催
- 6. 10 聴覚障害者等に対する緊急通報システム運用開始
- 7. 1 分団旗(8分団)及び現場旗を更新
- 7. 20 第24回中国地区消防救助技術指導会陸上の部(ロープ登はん)に出場
- 10. 1 気象観測装置(風向風速計、百葉箱)を更新
- 11. 16 末武分団西市部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備
- 11. 28 第8回救急救命士国家試験合格

平成8年

- 1. 12 笠戸島分団深浦部の消防機庫を移転新築
- 3. 22 山之内製薬㈱より高規格救急自動車(ニッサンパラメディックⅡ)を寄贈され「高規格救急車1号」と命名し更新配備
- 3. 29 30m級はしご付消防自動車「青柳号」を更新配備
- 4. 1 山口県内広域消防相互応援協定(14市38町4村8地区消防組合)締結
- 4. 1 女性消防団員4名(増員)任用
- 4. 1 定数条例改正消防職員54名
- 4. 21 第18回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 春の叙勲 内富忠夫氏受章
- 8. 16 職員参集装置設置
- 9. 5 第31回山口県総合防災訓練を下松スポーツ公園及び下松小学校で実施
- 9. 27 気象観測装置(温度計、湿度計、雨量計)を更新
- 10. 1 高規格救急車による救命活動運用開始
- 11. 3 秋の叙勲 福高誠一氏受章
- 12. 25 豊井分団豊恋部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備

平成9年

- 3. 28 笠戸島分団江の浦部の消防機庫を移転新築
- 4. 1 第15代消防長に清水拓冶就任
- 4. 20 第19回下松市消防競技大会開催
- 10. 31 西市沖消防訓練場の訓練塔建替
- 11. 5 山口県石油コンビナート等総合防災訓練実施(中国電力㈱下松発電所)
- 12. 22 花岡分団生野屋部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備

平成10年

- 1. 20 「江の浦ふるさと防災会」設立に伴い、ホース一式配備
- 3. 30 携帯電話等からの転送等に関する協定締結
- 4. 26 第20回下松市消防競技大会開催
- 6. 8 第8回山口県危険物安全大会開催(スターピアくだまつ)
- 9. 26 第45回山口県消防操法大会 小型動力ポンプの部 豊井分団3位
- 11. 5～6 中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に参加(高松市)
- 11. 12 久保分団大河内部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備

平成11年

- 4. 1 定数条例改正消防職員56名
下松市消防団員の定員、任命、給与、服務に関する条例改正 団員定年60歳
- 4. 25 第21回下松市消防競技大会開催
- 6. 1 市内5事業所と消防応援協定締結
- 10. 1 第5代消防団長に松村義夫就任
- 12. 3 花岡分団中村部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備
- 12. 27 「救助工作車(Ⅱ型)」を配備

平成12年

- 4. 1 山口県・山口県内市町村等と山口県消防防災ヘリコプター応援協定締結
- 4. 1 定数条例改正消防職員57名
- 4. 23 第22回下松市消防競技大会開催
- 5. 23 山口県消防防災ヘリコプター就航
- 6. 9～10 第6回全国女性消防団員活性化北海道大会参加
- 6. 10 周南記念病院開院に併せ画像伝送装置更新、日立病院同装置設置
- 9. 23 第47回山口県消防操法大会 小型動力ポンプの部 花岡分団準優勝
- 12. 10 笠戸島分団深浦部に小型動力ポンプ付積載車を更新

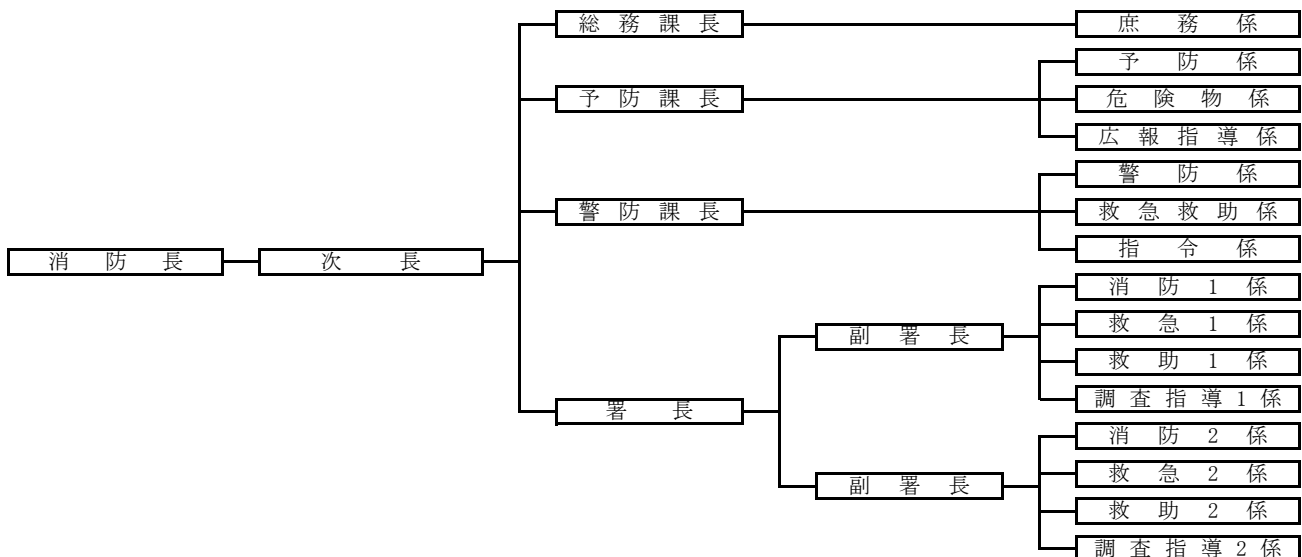
平成13年

- 3. 24 芸予地震(震源地安芸灘M6.7)震度5弱
- 4. 22 第23回下松市消防競技大会開催
- 8. 29 新日本石油(株)下松事業所石炭中継基地竣工
- 9. 13～14 第7回全国女性消防団員活性化山口大会参加
- 10. 2 泡原液搬送車更新(S56年式)(南共同防災センター解散に伴い車両移管)
- 11. 2 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車「八幡号」を更新配備
- 11. 3 秋の叙勲 田中政人氏受章
- 11. 9 山口県石油コンビナート等総合防災訓練実施(中国電力(株)下松発電所)
- 11. 21 消防庁舎耐震改修工事開始

平成14年

- 2. 8 日本消防協会長より表彰旗授与(下松市消防団)
- 3. 24 消防庁舎耐震改修工事完了
- 4. 1 下松市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例改正 消防団員定員350名
- 4. 1 消防本部、署の機構改革により署の組織を係制とした

1 消防の組織



平成14年（続き）

- 4. 21 第24回下松市消防競技大会 雨天のため中止
- 4. 29 春の叙勲 田中武雄氏受章
- 5. 29 深浦自治会を住宅防火モデル地区に指定
- 7. 26～27 全国女性消防団員活性化大阪大会参加
- 10. 16～17 中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に参加(きらら浜)
- 10. 30 災害対応特殊消防ポンプ自動車「若水号」を更新配備

平成15年

- 4. 1 第16代消防長に阿部五郎就任
- 4. 21 第25回下松市消防競技大会 雨天のため中止
- 4. 21 合併による周南市発足に伴い各応援協定再締結
- 7. 24 「連絡車2号(普通自動車)」を更新配備
- 9. 3～4 第9回全国女性消防団員活性化愛媛大会参加
- 10. 1 第6代消防団長に高橋勝之就任
- 10. 17 高機能指令装置(富士通ゼネラル)更新設置
- 11. 3 第1回危険業務従事者叙勲 柳秋正氏受章
- 11. 19 自治体消防55周年記念大会参加(東京ドーム)

平成16年

- 3. 23 「高規格救急自動車2号」を更新配備(「救急車2号」の更新)
- 4. 1 緊急消防援助隊に消火隊を登録(緊急消防援助隊番号：35003)
- 4. 1 第17代消防長に藤井俊則就任
- 4. 25 第26回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 第2回危険業務従事者叙勲 相本操氏受章
- 8. 10 叙位・叙勲 合田宏智氏受章
- 11. 15 「作業車2号(軽四トラック)」を更新配備
- 12. 10 下松分団に普通消防ポンプ自動車(CD- I)を更新配備

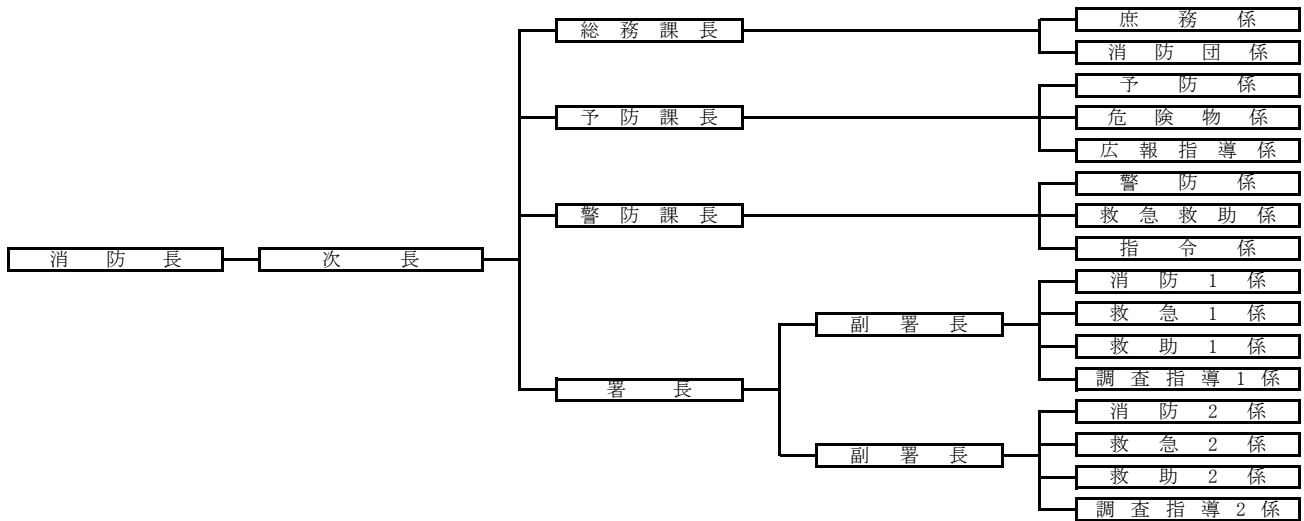
平成17年

- 1. 9 「下松市消防団訓」制定
- 3. 23 「指揮車」を更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 4. 1 第18代消防長に野村明彦就任
- 4. 17 第27回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 第4回危険業務従事者叙勲 浅村之美氏受章
- 4. 29 春の叙勲 松村義夫氏受章
- 7. 28 30m級梯子車「青柳号」オーバーホール実施(モリタテクノス)
- 8. 10 「連絡車1号(普通自動車)」を更新配備
- 10. 19 携帯電話119番直接受信運用開始
- 10. 21 第20回山口県幼年消防クラブ大会開催(スターピアくだまつ)
- 11. 3 第5回危険業務従事者叙勲 山本幸三郎氏受章
- 11. 9 山口県石油コンビナート等総合防災訓練実施(中国電力(株)下松発電所)
- 12. 20 第1回救急ステーション認定

平成18年

- 3. 3 豊井分団本浦部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 3. 20 合併による岩国市発足に伴い各応援協定再締結
- 4. 1 第19代消防長に原田一就任
- 4. 1 緊急消防援助隊に救急隊1隊を追加登録
- 4. 1 消防本部組織改組 総務課を庶務係・消防団係の2係制とした

1 消防の組織



- 4. 1 予防技術資格者認定
- 4. 1 代表番号を45-0119に変更
- 4. 25 気管挿管認定(救急救命士追加応急処置)
- 4. 23 第28回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 第6回危険業務従事者叙勲 濱田俊晴氏受章
- 10. 12 薬剤投与認定(救急救命士追加応急処置)
- 10. 13 メタルハライド投光器4灯式を1台配備(安全装備品等助成事業)
- 10. 27 化学消火薬剤タンク撤去
- 11. 3 第7回危険業務従事者叙勲 相本和美氏受章
- 11. 9 第2回救急ステーション認定

平成19年

- 3. 16 久保分団切山部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 3. 31 深浦小学校の休校に伴い深浦小学校少年消防クラブ休部
- 4. 22 第29回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 第8回危険業務従事者叙勲 徳弘仁志氏受章
- 8. 30 「査察車」を更新配備
- 9. 15 第54回山口県消防操法大会 応急操法小型動力ポンプの部 米川分団準優勝
- 10. 1 第7代消防団長に藤井基博就任
- 11. 3 秋の叙勲 矢野守氏受章
- 11. 3 第9回危険業務従事者叙勲 土田芳大氏受章
- 11. 12~13 第13回全国女性消防団員活性化熊本大会参加
- 12. 3 「救急車1号」を更新配備 「高規格救急車1号」を「救急車3号」に、「高規格救急車2号」を「救急車2号」に改名

平成20年

- 1. 27 消防長室及び2階事務室改修
- 3. 6 自治体消防60周年記念大会参加(武道館)
- 3. 12 米川分団赤谷部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 3. 21 合併による美祢市発足に伴い各応援協定再締結

平成20年（続き）

- 4. 27 第30回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 春の叙勲 高橋勝之氏受章
- 4. 29 第10回危険業務従事者叙勲 阿部五郎氏受章
- 5. 17 第56回山口県消防大会開催(スターピアくだまつ)
- 8. 21 メタルハライド投光器4灯式を1台(2台目)配備(安全装備品等助成事業)
- 10. 28 久保分団久保市部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)

平成21年

- 2. 19 「指揮広報車(レガシィB4)」を配備(日本消防協会共済事業)
- 2. 23 消防ポンプ自動車「妙見号」を更新配備
- 2. 25 下松市消防団、消防団地域活動表彰受賞(ニッショーホール)
- 3. 4 周南記念病院と日立病院に設置中の画像伝送装置を撤去
- 4. 1 第20代消防長に原田孝久就任
- 4. 1 定数条例改正消防職員60名
- 4. 26 第31回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 春の叙勲 桑田貢氏受章
- 7. 21 「平成21年7月中国・九州北部豪雨」に伴う山口県内広域消防相互応援協定に基づき消火隊派遣(防府市)
- 8. 10 花岡分団中村部の消防機庫を移転新築
- 9. 19 第56回山口県消防操法大会 応急操法小型動力ポンプの部 下松分団準優勝
- 11. 5～6 第15回全国女性消防団員活性化岡山大会参加
- 11. 13 花岡分団花岡部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 11. 26 山口県石油コンビナート等総合防災訓練実施(東洋鋼鈑(株)下松事業所)
- 11. 27 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車「北斗号」を更新配備

平成22年

- 4. 1 第21代消防長に田村一正就任
- 4. 14 合併による山口市発足に伴い各応援協定再締結
- 4. 25 第32回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 春の叙勲 下瀬勝利氏、原田幸彦氏受章
- 7. 28 第39回中国地区消防救助技術指導会陸上の部(ほふく救出)に2チーム出場
- 7. 29～30 第16回全国女性消防団員活性化奈良大会参加
- 9. 18 第57回山口県消防操法大会 応急操法小型ポンプの部 末武分団準優勝
- 10. 21～22 中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に参加(高知市)
- 10. 28 末武分団大海町部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 11. 3 秋の叙勲 藤井悟氏受章

平成23年

- 1. 21 山口県ドクターヘリ就航
- 3. 11 東日本大震災発生(震源地：三陸沖、M9.0、震度7)
- 3. 14～22 東日本大震災の発生に伴い山口県緊急消防援助隊として救急隊1隊を派遣(活動地域：宮城県石巻市)
- 4. 24 第33回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 春の叙勲 下村一生氏受章
- 5. 29 叙位・叙勲 原田敏己氏受章
- 9. 6 消防団協力事業所認定表示証交付 (株)日立製作所、(株)新笠戸ドックを認定
- 9. 15 豊井分団二宮町部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 10. 1 第8代消防団長に福田悦男就任
- 11. 3 秋の叙勲 中村春敏氏受章
- 11. 9 東日本大震災に際し消防緊急災害援助隊派遣に伴う総務大臣表彰受賞
- 11. 12 第17回全国女性消防団員活性化香川大会参加

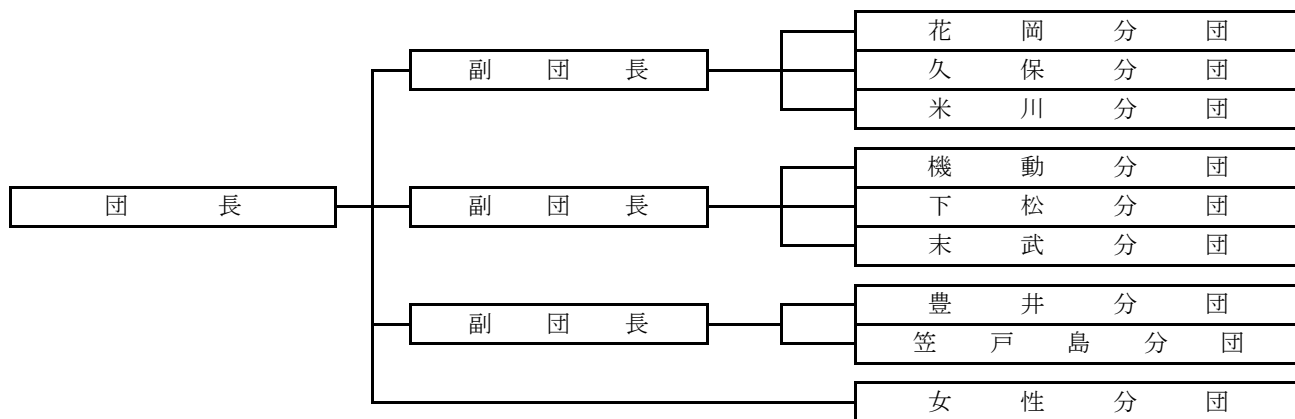
平成24年

- 4. 18 消防庁舎新築移転計画発表
- 4. 22 第34回下松市消防競技大会 雨天のため中止
- 4. 29 春の叙勲 橋本宗夫氏受章
- 6. 1 緊急情報ネットワークシステム(Em-Net)運用開始
- 8. 9~10 全国消防協会中国地区支部消防実務講習会(予防広報)開催
- 9. 24 全国瞬時警報システム(J-ALERT)運用開始
- 11. 3 第19回危険業務従事者叙勲 村山誠一氏受章
- 11. 3 秋の叙勲 藤井基博氏受章
- 12. 20 下松市新消防庁舎建設設計業務プロポーザル審査委員会設置委員会の制定
- 12. 26 携帯型デジタル簡易無線機消防団配備(笠戸島分団、米川分団に配備)
- 12. 27 資機材搬送車(ニッサンアトラス)を配備

平成25年

- 2. 4 米川分団大藤谷部に小型動力ポンプ付軽積載車を配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 4. 1 下松市消防団員の組織に関する規則改正 女性分団発足(団本部から分団化)

1 団の組織



- 4. 21 第35回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 第20回危険業務従事者叙勲 松村洋治氏受章
- 6. 7 第23回山口県危険物安全大会開催(スターピアくだまつ)
- 8. 25 2013年山口県総合防災訓練 悪天候のため中止(周南地区引受)
- 11. 3 秋の叙勲 持佛征男氏受章
- 11. 25 消防団120年・自治体消防65周年記念大会(東京ドーム)
- 12. 27 笠戸島分団江の浦部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)

平成26年

- 3. 14 伊予灘地震発生(震源地：伊予灘沖、M6.2、震度5弱)
- 3. 28 「高規格救急車3号」を更新配備
- 4. 1 心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与(救急救命士処置範囲拡大2行為)
- 4. 1 第22代消防長に原田雄次就任
- 4. 20 下松市制施行75周年記念第36回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 春の叙勲 大宮靖彦氏受章
- 8. 6 新消防庁舎建設安全祈願祭
- 8. 28~29 広島県土砂災害発生に伴い山口県緊急援助隊として消火隊1隊を派遣(広島県広島市安佐地区)
- 9. 20 第61回山口県消防操法大会 応急操法小型ポンプの部 豊井分団優勝
- 10. 10 末武分団平田部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 11. 3 第23回危険業務従事者叙勲 近藤登氏受章
- 12. 11 女性分団防災活動車を配備(消防団員等福祉共済福祉増進事業 公益財団法人日本消防協会より交付)

平成27年

- 1. 19 機動分団に救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車を配備(消防団車両等の無償貸付 総務省消防庁より貸付)
- 3. 31 災害対応特殊消防ポンプ自動車(日野デュトロ)「荒神号」更新配備
- 4. 1 定数条例改正消防職員65名
- 4. 1 携帯型デジタル簡易無線機消防団配備(機動分団及び下松分団に配備)
- 4. 19 第37回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 春の叙勲 寶迫和美氏受章
- 7. 1 下松市初の女性消防吏員採用
- 7. 22 第44回中国地区消防救助技術指導会陸上の部(ほふく救出)に1チーム出場
- 9. 19 第62回山口県消防操法大会 応急操法小型ポンプの部 米川分団優勝
- 11. 4 米川分団下谷部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 11. 6 下松地区特防協総合防災訓練実施

平成28年

- 3. 3 下松市消防本部新消防庁舎運用開始(大手町から河内に移転)
- 3. 3 高機能消防指令システム運用開始
- 3. 3 消防・救急デジタル無線システム運用開始
- 3. 15 新消防庁舎竣工式典開催
- 3. 30 大型化学高所放水車(日野)「天王号」、泡原液搬送車(日野)「城山号」を更新配備
- 4. 1 第9代消防団長に村田丈生就任
- 4. 14 熊本地震発生(震源地:熊本県熊本地方、M6.5、震度7)
- 4. 16~21 熊本地震発生に伴い山口県緊急消防援助隊として救急隊1隊を派遣
- 5. 6 春の叙勲 原田俊彦氏受章
- 5. 6 第26回危険業務従事者叙勲 長谷川壯二氏、長谷保美氏受章
- 5. 28 第38回下松市消防競技大会開催
- 7. 20 第45回中国地区消防救助技術指導会陸上の部(ほふく救出)に1チーム出場
- 11. 4 第27回危険業務従事者叙勲 伊藤哲雄氏、河村成典氏受章
- 12. 20 末武分団西市部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)

平成29年

- 3. 10 小型動力ポンプ付水槽車(日野)「鷲頭号」配備
- 4. 23 第39回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 春の叙勲 福田悦男氏受章
- 4. 29 第28回危険業務従事者叙勲 原田一氏、橋本透氏受章
- 7. 6~7. 20 九州北部豪雨災害発生に伴い福岡県へ山口県緊急消防援助隊として救急隊・消火隊1隊を派遣
- 9. 16 第64回山口県消防操法大会 応急操法小型ポンプの部 下松分団準優勝
- 9. 16 第35回山口県女性消防操法大会 軽可搬ポンプ基本操法の部 女性分団3位
- 9. 19 「高規格救急車4号」を更新配備
- 10. 31 豊井分団豊恋部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)

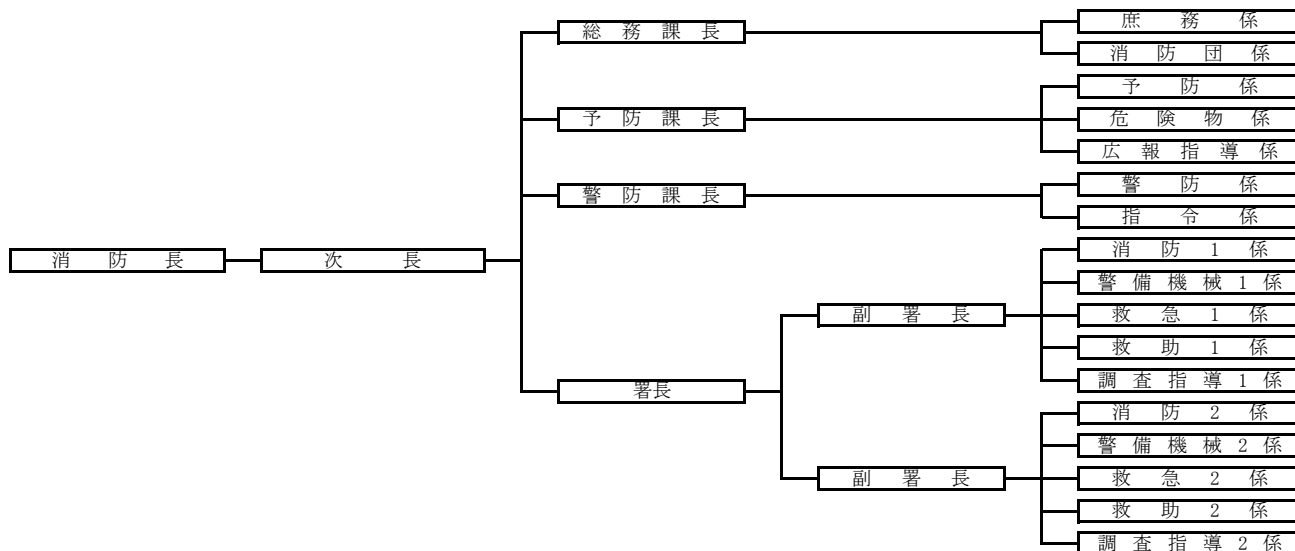
平成30年

- 4. 1 第23代消防長に原田保寿就任
- 4. 1 定数条例改正消防職員70名
- 4. 22 第40回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 第30回危険業務従事者叙勲 藤井壽徳氏受章
- 7. 6~7. 17 平成30年7月豪雨発生に伴い広島県へ山口県緊急消防援助隊として消火隊1隊を派遣
- 9. 15 第65回山口県消防操法大会 応急操法小型ポンプの部 末武分団優勝
- 10. 1 水難救助業務の開始
- 11. 3 秋の叙勲 末石敏文氏受章
- 11. 3 第31回危険業務従事者叙勲 田中剛氏、村田常夫氏受章

平成31年(2019年1月～4月末)

- 2. 6 花岡分団生野屋部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 2. 21 全国瞬時警報システム(J-ALERT)新型受信機へ更新
- 4. 1 消防本部、署の機構改革により、警防課救急救助係を廃止し、署警備機械係を新設

1 消防の組織



- 4. 21 下松市制施行80周年記念第41回下松市消防競技大会開催
- 4. 29 春の叙勲 原田昭之氏受章

令和元年(2019年5月～12月末)

- 7. 3 下松市水難救助隊発足
- 9. 21 第66回山口県消防操法大会 応急操法小型ポンプの部 笠戸島分団優勝
- 11. 3 秋の叙勲 嶋員久氏受章
- 11. 27 35m級はしご付消防自動車(日野)「青柳号」を更新配備
- 12. 6 久保分団大河内部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)

令和2年

- 3. 31 米川小学校の休校に伴い米川小学校少年消防クラブ休部
- 3. 31 久保幼稚園及び妹背幼稚園の廃園に伴い久保幼稚園幼年消防クラブ及び妹背幼年消防クラブ解散
- 4. 1 第10代消防団長に守田宜生就任
- 4. 19 第42回下松市消防競技大会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 4. 29 春の叙勲 浅田実氏受章
- 7. 6～7. 11 令和2年7月豪雨発生に伴い熊本県へ山口県緊急消防援助隊として消火隊1隊を派遣
- 9. 19 第67回山口県消防操法大会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

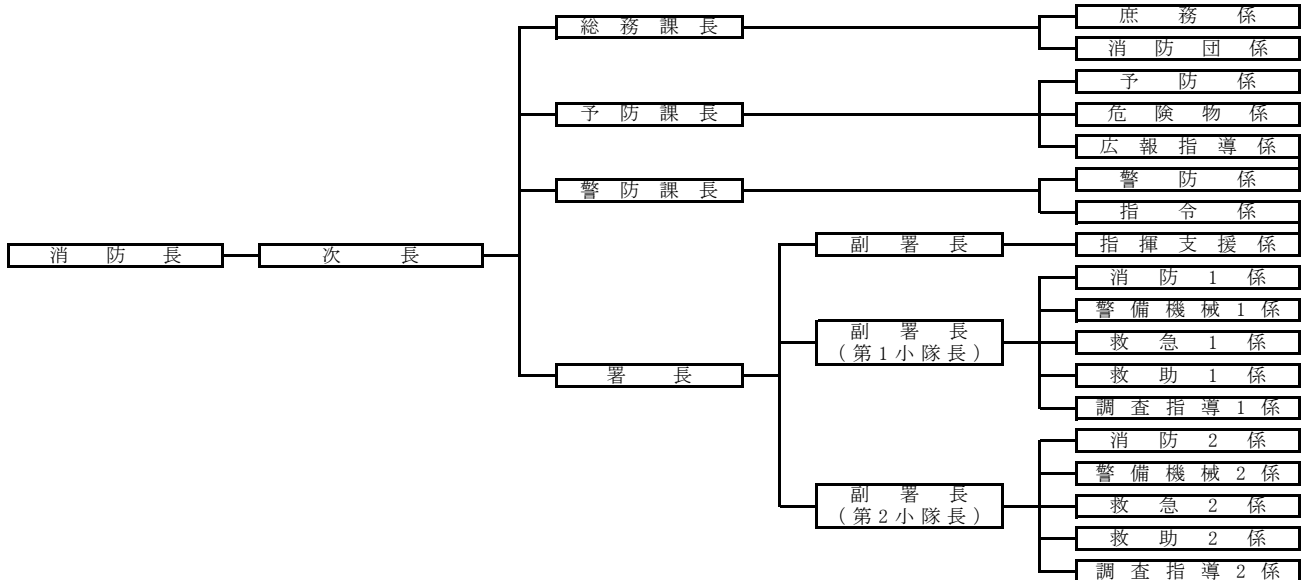
令和3年

- 3. 18 花岡分団中村部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備
- 4. 1 Net119緊急通報システム運用開始(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
- 4. 18 第43回下松市消防競技大会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 4. 29 春の叙勲 中村省二氏受章
- 4. 29 第36回危険業務従事者叙勲 田村一正氏受章
- 9. 18 第68回山口県消防操法大会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 11. 3 秋の叙勲 仁谷豊明氏受章
- 11. 3 第37回危険業務従事者叙勲 藤井清美氏受章
- 11. 9 機動分団及び末武分団大海町部機庫に救助用ゴムボートを配備

令和4年

- 3. 10 「救助工作車(Ⅱ型)」(モリタ)を更新配備
- 3. 23 笠戸島分団深浦部に小型動力ポンプ付積載車を更新配備
- 4. 1 署の機構改革により、指揮支援係を新設し、署1係、2係をそれぞれ署第1小隊、第2小隊へ改組

1 消防の組織



- 4. 29 春の叙勲 中原要氏受章
- 4. 第44回下松市消防競技大会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 11. 3 秋の叙勲 白石信之氏、武居正展氏受章
- 11. 30 「高規格救急車2号」を更新配備

令和5年

- 3. 2 石油コンビナート等特別防災区域を指定する政令の一部を改正する政令により下松地区特別防災区域指定解除
- 3. 17 下松分団に救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車を配備(消防団車両等の無償貸付 総務省消防庁より貸付)
- 3. 31 深浦地区婦人防火クラブ及び米川地区婦人防火クラブ解散
- 4. 1 第24代消防長に鬼武輝明就任
- 4. 1 花の子保育園幼年防火クラブ発足
- 4. 29 春の叙勲 宮村良夫氏受章
- 4. 第45回下松市消防競技大会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

6 歴代消防長、歴代消防団長

歴代消防長

事項 歴代	氏名	就任年月日
初代	助役 高田 秀次	昭和26年3月1日
2代	武居 常雄	昭和26年7月31日
3代	助役 河口 登	昭和32年6月13日
4代	市長 河口 登	昭和34年4月30日
5代	助役 山中 健三	昭和38年5月1日
6代	藤尾 嘉市	昭和39年6月8日
7代	渡辺 浮人	昭和43年4月1日
8代	磯村 寿夫	昭和51年5月15日
9代	橋本 清之	昭和53年4月15日
10代	河村 敏雄	昭和58年11月21日
11代	磯村 寿夫	昭和59年7月16日
12代	柳 秋正	昭和62年7月16日
13代	角 俊文	昭和63年2月8日
14代	小田 政光	平成5年4月1日
15代	清水 拓治	平成9年4月1日
16代	阿部 五郎	平成15年4月1日
17代	藤井 俊則	平成16年4月1日
18代	野村 明彦	平成17年4月1日
19代	原田 一	平成18年4月1日
20代	原田 孝久	平成21年4月1日
21代	田村 一正	平成22年4月1日
22代	原田 雄次	平成26年4月1日
23代	原田 保寿	平成30年4月1日
24代	鬼武 輝明	令和5年4月1日

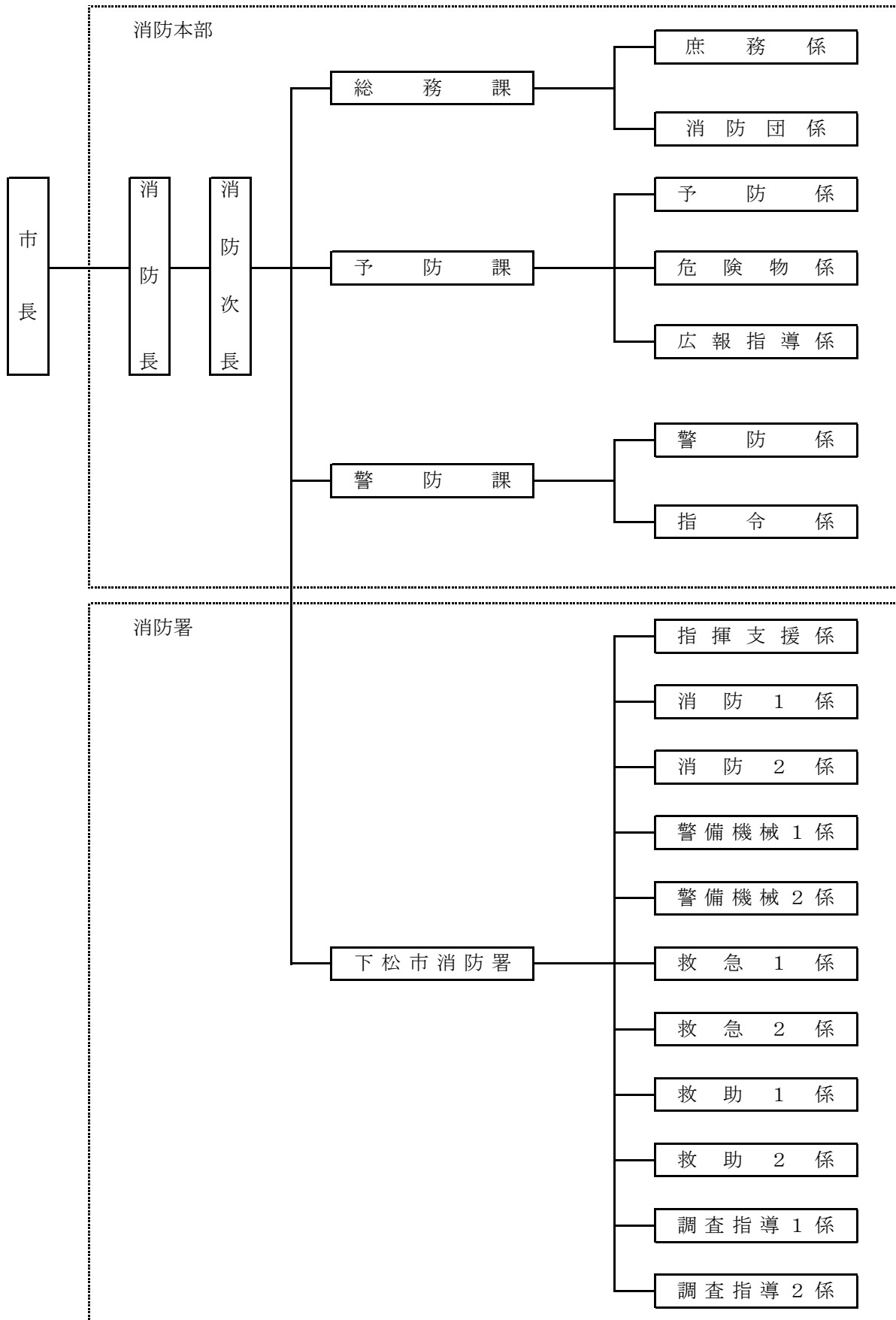
歴代消防団長

事項 歴代	氏名	就任年月日
初代	林谷 育造	昭和26年7月28日
2代	田村 元輔	昭和54年8月1日
3代	下瀬 一男	昭和56年8月1日
4代	田中 武雄	平成1年8月1日
5代	松村 義夫	平成11年10月1日
6代	高橋 勝之	平成15年10月1日
7代	藤井 基博	平成19年10月1日
8代	福田 悦男	平成23年10月1日
9代	村田 丈生	平成28年4月1日
10代	守田 宜生	令和2年4月1日

7 消防本部の組織図

下松市消防本部

(R 5-4-1)



8 人 事

(1) 消防職員配置状況

(R 5-4-1)

階 級 勤 務 配 置		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ 職 の 他 員	計
		消 防 本 部	消 防 長	1					
消 防 次 長			1						1
総 務 課			1	2	3	1			7
予 防 課			1	3	2				6
警 防 課			1	5	2		1		9
消 防 署	日 勤		1						1
	指 揮 支 援 係			3		1			4
	第 1 小 隊			6	5	4	5		20
	第 2 小 隊			6	6	4	4		20
実 員		1	5	25	18	10	10		69

(2) 消防職員階級別年齢

(R 5-4-1)

年 齢 階 級	18～ 20歳	21～ 25歳	26～ 30歳	31～ 35歳	36～ 40歳	41～ 45歳	46～ 50歳	51～ 55歳	56～ 59歳	60歳以上	人数 (計)	平均 年齢
	消 防 司 令 長									1		
消 防 司 令								3	2		5	54.6
消 防 司 令 補					2	8	13	1	1		25	46.6
消 防 士 長				10	8						18	35.1
消 防 副 士 長			9	1							10	38.8
消 防 士	1	8	1								10	23.1
計	1	8	10	11	10	8	13	4	4		69	38.6

(3) 職員免許資格取得状況

(R5-4-1)

区分		階 級	計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士
		職員数							
			69	1	5	25	18	10	10
運自 転 動 免 許車	大 型 第 一 種		58		4	23	18	8	5
	普 通 第 一 種		69	1	5	25	18	10	10
	大 型 特 殊		2			1	1		
	け ん 引		2			1	1		
小 型 車 両 系 建 設 機 械			3		1	1	1		
クレーン運転業務特別教育			10		1	2	3	2	2
玉 掛 技 能 講 習			35		2	17	14	1	1
小 型 移 動 式 クレーン 運 転 技 能 講 習			32		2	17	12	1	
危 険 物 取 扱 者	甲 種		1			1			
	乙 種		29		3	9	11	3	3
	丙 種		5		2	3			
予 防 技 術 資 格 者	防 火 査 察		8		1	4	2	1	
	消 防 用 設 備 等		5		1	3	1		
	危 険 物		5			3	1	1	
第2級・3級陸上特殊無線技士			67		5	25	18	10	9
救 急 救 命 士			18		1	6	6	4	1
救 急 隊 員 資 格 者			48		4	18	12	6	8
潜 水 士			16			4	7	5	
小 型 船 舶 操 縦 士			10		1	1	5	3	
衛 生 管 理 者			3			1	2		
伐木等の業務に係る特別教育			1			1			
刈払機取扱作業安全衛生教育			6			2	4		
一 般 毒 物 劇 物 取 扱 者			1			1			
ガ ス 溶 接 技 能 講 習			9		2	3	2	2	
フ ォ ー ク リ フ ト 技 能 講 習			2				1		1
特 定 化 学 物 質 及 び 四 ア ル キ ル 鉛 等 作 業 主 任 者			2			1	1		
二 級 ボ イ ラ ー 技 士			3			1	1	1	
ア ー ク 溶 接			1			1			
自 由 研 削 と い し 取 替 等 業 務 特 別 講 習			1				1		
消 防 設 備 士			1					1	
第 二 種 電 気 工 事 士			1					1	
第 三 種 冷 凍 機 械 責 任 者			1					1	

(4) 在職年数別消防職員数

(R 5-4-1)

階 級	年 数								合 人 計 員
	0年 ～ 5年 未満	5年 以上 ～ 10年 未満	10年 以上 ～ 15年 未満	15年 以上 ～ 20年 未満	20年 以上 ～ 25年 未満	25年 以上 ～ 30年 未満	30年 以上 ～ 35年 未満	35年 以上	
消 防 司 令 長	1								1
消 防 司 令						1	1	3	5
消 防 司 令 補				5	7	5	7	1	25
消 防 士 長			9	9					18
消 防 副 士 長		6	4						10
消 防 士	7	3							10
計	8	9	13	14	7	6	8	4	69

9 会 計

(1) 一般会計消防費等の推移

区分 年度(決算)	一般会計 (歳出決算額)		比率 (B/A%)	1世帯 当りの 消防費 (円)	1人 当りの 消防費 (円)
	(A) (千円)	左のうち 消防費 (B) (千円)			
平成18年度	17,812,903	519,780	2.9	22,870	9,419
平成19年度	19,964,203	587,484	2.9	25,364	10,595
平成20年度	18,141,578	550,660	3.0	23,452	9,886
平成21年度	18,763,318	553,716	3.0	23,307	9,899
平成22年度	19,729,103	484,669	2.5	20,157	8,641
平成23年度	19,907,294	490,775	2.5	20,266	8,727
平成24年度	17,937,198	682,358	3.8	27,975	12,112
平成25年度	18,405,709	715,276	3.9	29,270	12,725
平成26年度	20,607,999	1,654,636	8.0	67,232	29,365
平成27年度	21,360,850	1,985,552	9.3	80,244	35,299
平成28年度	21,343,856	621,947	2.9	24,838	11,012
平成29年度	20,378,512	655,425	3.2	25,628	11,531
平成30年度	21,991,625	576,864	2.6	22,187	10,085
令和元年度	24,112,815	817,887	3.4	31,406	14,300
令和2年度	28,181,899	587,184	2.1	22,337	10,258
令和3年度	24,528,603	770,906	3.1	29,103	13,472
令和4年度	24,176,703	677,781	2.8	25,435	11,841

予 防

令和5年度危険物安全週間推進標語

『 意思つなぐ 連携プレーで 事故防ぐ 』

1 防火対象物

(1) 防火対象物の現況

(R5-4-1)

防火対象物区分			防火対象物数	5F以上
(一) 項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	3	
	ロ	公会堂又は集会場	20	
(二) 項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類	1	
	ロ	遊技場又はダンスホール	9	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗		
	ニ	個室型店舗等（カラオケボックス等）		
(三) 項	イ	待合、料理店の類		
	ロ	飲食店の類	48	
(四) 項		百貨店、マーケット、その他の物品販売店舗	110	
(五) 項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	12	3
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	703	71
(六) 項	イ	病院、診療所又は助産所	36	1
	ロ	老人入所施設（程度の重い者・要介護状態にある者を入所させるもの）等	28	1
	ハ	老人入所施設（上記以外のもの） 又はデイサービス、保育所等	39	
	ニ	幼稚園、盲学校又は養護学校	12	
(七) 項		小学校、中学校、高等学校、各種学校	69	
(八) 項		図書館、博物館、美術館		
(九) 項	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類	1	
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場		
(十) 項		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	1	
(十一) 項		神社、寺院、教会の類	42	
(十二) 項	イ	工場又は作業場	403	3
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ		
(十三) 項	イ	自動車車庫又は駐車場	13	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫		
(十四) 項		倉庫	207	1
(十五) 項		前各項に該当しない事業場	304	3
(十六) 項	イ	特定用途の複合用途対象物	127	10
	ロ	イ以外の複合用途対象物	40	5
(十六の二) 項		地下街		
(十六の二) 項		準地下街		
(十七) 項		重要文化財、重要美術品等の建造物	1	
(十八) 項		延長50m以上のアーケード		
合計			2,229	98

(注) 延べ面積150㎡以上の棟別数。

(2) 建築同意事務の現況

(最近5か年)

内訳		年	30	元	2	3	4
		受 理 件 数	346	373	411	323	362
処理内訳	同 意	90	142	142	92	85	
	消防用設備他	40	36	38	48	35	
	不 同 意	0	0	0	0	0	
	通 知 等	256	231	269	231	277	

(3) 各種届出受理件数

(令和4年中)

届 出 区 分	消 防 法 関 係						下 松 市 火 災 予 防 条 例 関 係											小 計	合 計		
	圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱い届	防火管理者選解任届	消防計画画届	消防用設備等着工届	消防用設備等設置届	小計	防火対象物使用開始届	炉・ボイラー・火花を生ずる設備等設置届	燃料電池発電設備・変電設備等設備届	ネオン管灯設備設置届	少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届	水素ガスを充てんする気球設置届	催物開催届	煙火打上げ届・仕掛け届	火災とまぎらわしい煙又は火災を発生させるおそれのある行為の届	水道断水・減水届	道路断水工事届			火気使用承認届	露店等の開設届
件数	27	93	102	79	122	423	54	6	14		32		9	7	43		187	10	9	371	794

(4) 定期点検報告防火対象物数

※特定防火対象物で収容人員300人以上、若しくは収容人員30人以上で3階以上に特定用途があり屋内階段が1の対象物

(R5-4-1)

用途別対象物数			対象物総数	特例認定対象物数
(1)項	イ	劇場・演劇場	2	1
	ロ	公会堂・集会場	11	10
(2)項	ロ	遊技場	3	1
(3)項	ロ	飲食店	0	0
(4)項		店舗	22	4
(5)項	イ	旅館・ホテル	1	0
(6)項	ロ	老人入所施設	1	0
(6)項	ハ	福祉施設	1	1
(9)項	イ	特殊浴場	0	0
(16)項	イ	複合用途(特定)	9	4
計			50	21

2 防火管理

(1) 防火管理資格取得講習会の実施状況

(最近5か年)

実施年		30	元	2	3	4
修了証 交付者 (人)	甲種	45	59	33	33	49
	乙種	5	7	1	2	3

(平成15年より乙種防火管理講習開始)

(2) 防火管理者資格付与延人員 (昭和36年以降)

(R5-4-1)

実施回数	修了証交付者総数	
	57	甲種
乙種		52

3 危険物

(1) 危険物施設の事務処理状況

令和4年度

製造所等の区分 許認可等の区分	製造所	貯蔵所						取扱所				合計		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所		移送取扱所	一般取扱所
設置許可							3							3
変更許可	2	1					4		4				6	17
完成検査	2	1					7		4				5	19
仮使用承認	2	1							4				6	13

完成検査前検査				保安検査	仮貯蔵・取扱い承認	予防規程認可	品名・数量変更届	保安監督者選解任届	軽微変更届	譲渡引渡届	休止届	廃止届	設置者氏名等変更届
基礎・地盤	溶接部	水張	水圧										
					4	9	8	27	219	2	1	24	8

(2) 危険物施設の現況

(R5-4-1)

製造所等の別	製造所	貯蔵所							取扱所					合計	事業所		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所			一般取扱所	小計
数	3	44	32	3	14		132	8	233	42				36	78	314	100

(3) 屋外タンク貯蔵所の容量別数

(R5-4-1)

危険物の別 タンク容量	第4類								小計	第4類以外の類	合計
	原油	ガソリン	灯油	軽油	重油	第4石油類	アルコール類	その他			
～ 100 kℓ			4	1	9		1	8	23	1	24
100 kℓ ～ 500 kℓ			1	1	5			1	8		8
500 kℓ ～ 1000 kℓ											0
1000 kℓ ～ 5000 kℓ											0
5000 kℓ ～ 10000 kℓ											0
10000 kℓ ～ 50000 kℓ											0
計	0	0	5	2	14	0	1	9	31	1	32

警 防

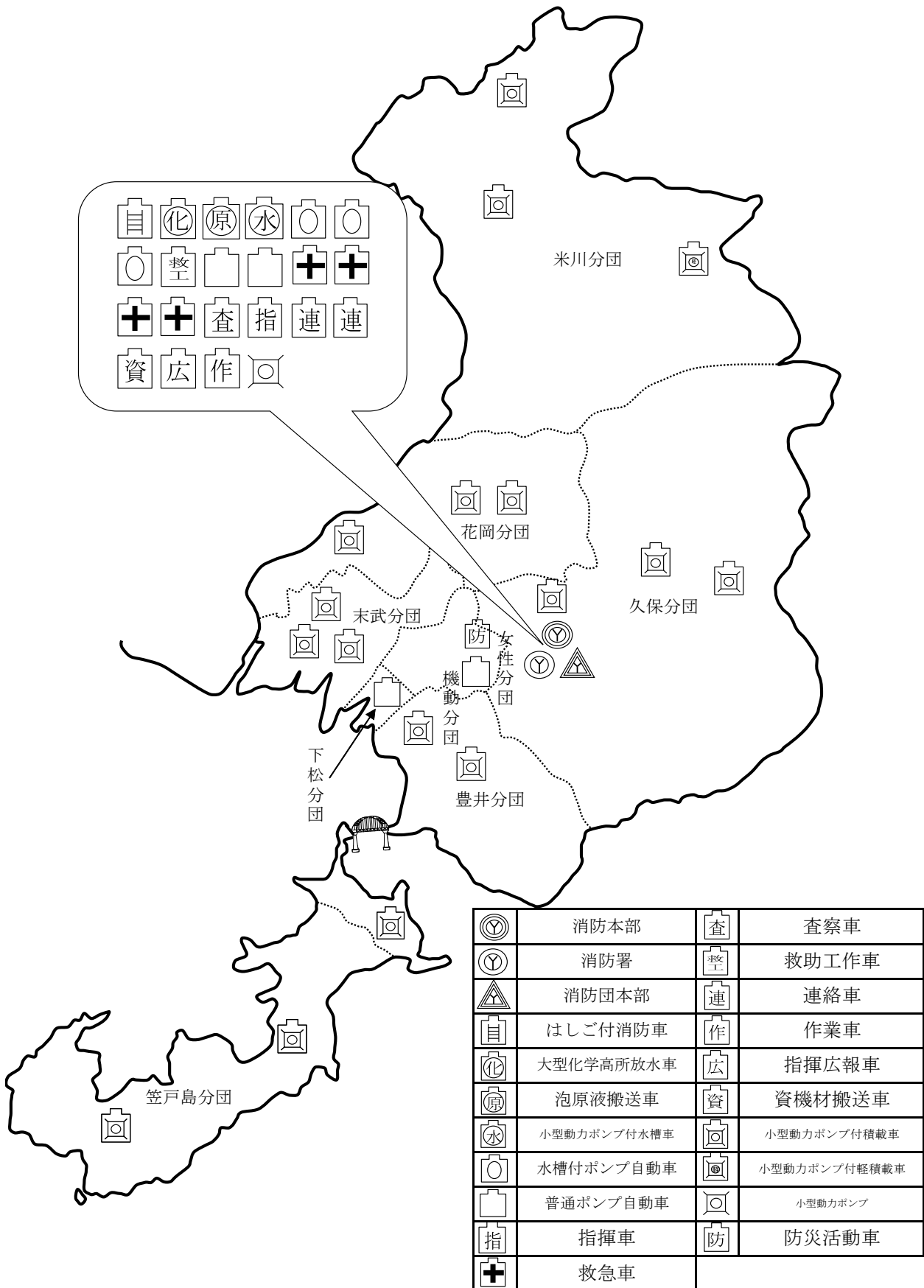
令和5年全国山火事予防運動統一標語

『 火の確認 山を愛する あなたのマナー 』

1 消防車両及び資機材

(1) 消防車両配置図

(R5-4-1)



(2) 消防車両等一覧表

(R5-4-1)

名 称	登録番号	車 種	排気量 (L)	定員 (人)	級別	登録年月
救助工作車	山口831 つ119	日野 レンジャー	D5.12	6	Ⅱ型	R4.2
八 幡 号	山口800 は325	日野 スペースレンジャー 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 (2,000L)	D7.96	6	A2	H13.10
若 水 号	山口800 さ4683	日野 デュトロ 災害対応特殊消防ポンプ自動車	D4.89	5	A1	H14.10
連絡車2号	山口400 せ180	トヨタ プロボックス	1.49	5	/	H15.7
救急車2号	山口830 さ9919	トヨタ ハイエース	2.69	7	/	R4.11
作 業 車	山口41 も744	ホンダ アクティ	0.65	2	/	H16.11
指 揮 車	山口800 さ7473	トヨタ レジアスエース	D2.49	9	/	H17.3
連絡車1号	山口800 さ7933	日産 アベニール	1.76	5	/	H17.7
査 察 車	山口800 さ9602	トヨタ カローラフィールダー	1.49	5	/	H19.8
救急車1号	山口800 さ9744	日産 エルグランド	3.49	7	/	H19.12
指揮広報車	山口800 す433	スバル レガシィB4	1.99	5	/	H21.2
妙 見 号	山口800 す441	日野 デュトロ 消防ポンプ自動車	4.00	5	A1	H21.2
小型動力ポンプ (妙見号積載)	/	ラビット P382	0.175	/	C1	H21.2
北 斗 号	山口800 は1303	日野 スペースレンジャー 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 (2,000L)	D6.40	6	A2	H21.11
資機材搬送車	山口800 す2507	日産 アトラス	D2.95	5	/	H24.12
救急車3号	山口800 す3212	日産 エルグランド	3.49	7	/	H26.3
荒 神 号	山口800 す3787	日野 デュトロ 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 (900L)	D4.00	5	A2	H27.3
天 王 号	山口800 は1857	日野 プロフィア 大型化学高所放水車(22m級)	8.86	3	A1	H28.3
城 山 号	山口800 は1856	日野 レンジャー 泡原液搬送車(4,000L)	7.68	3	ギア B2	H28.3
鷲 頭 号	山口800 は1940	日野 レンジャー 小型動力ポンプ付水槽車(5,000L)	6.40	2	B2	H29.3
救急車4号	山口800 す5161	日産 エルグランド	3.49	7	/	H29.9
青 柳 号	山口800 は2131	日野 大型消防専用車 はしご付消防自動車(35m級)	D8.86	6	/	R1.11

(3) 消防用資機材一覧表

(R5-4-1)

資 機 材 名	数 量	
消 防 用 ホ ー ス	65ミリ	214
	50ミリ	189
	40ミリ	30
化 学 消 火 薬 剤	7,660ℓ	
油 吸 着 剤	153kg	
油 吸 着 マ ッ ト	60枚	

資 機 材 名	数 量
山 林 火 災 用 高 圧 ポ ン プ 一 式	1
ジ ェ ッ ト シ ュ ー タ ー	10
ポ ー タ ブ ル シ ョ ベ ル	10
発 電 機	11
投 光 器	9
エ ア ー テ ン ト	1

(4) 救急用資機材一覧表

(R5-4-1)

資 機 材 名	数 量
ス ト レ ッ チ ャ ー 付 担 架 一 式	4
酸 素 吸 入 装 置	4
携 帯 用 酸 素 吸 入 装 置	4
電 動 式 吸 引 器	6
陰 圧 式 固 定 器 具	5
脊 柱 固 定 用 資 器 材	7
シ ョ ッ ク パ ン ツ	4
血 圧 計	4
喉 頭 鏡	6
バ ッ グ バ ル ブ マ ス ク	11
患 者 監 視 装 置	4
防 刃 チ ョ ッ キ	12
ビ デ オ 喉 頭 鏡	4

資 機 材 名	数 量
携 帯 電 話	4
ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー	5
A E D (自 動 体 外 式 除 細 動 器)	7
自 動 式 心 肺 蘇 生 機	3
携 帯 用 ガ ス 検 知 器	3
C O 2 モ ニ タ ー	4
オ ゾ ン 殺 菌 消 毒 器	4
オ ゾ ン 水 生 成 器	1
オ ー ト ク レ ー ブ 滅 菌 器	1
P F D (救 命 胴 衣)	4
3 M 防 毒 マ ス ク	9
血 糖 測 定 器	4

(5) 救助用資機材一覧表

(R5-4-1)

区分	資機材名	数量
一般用救助用器具	かぎ付はしご	4
	三連はしご	3
	金属製折りたたみはしご	1
	空気式救助マット	1
	救命策発射銃	1
	サバイバースリング及び救助用縛帯	7
切断用器具	油圧切断機	1
	エンジンカッター	3
	ガス溶断器	1
	チェーンソー	1
	鉄線カッター	4
	空気鋸	1
	空気切断機	1
	大型油圧切断機	1
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1
破壊用器具	万能斧	9
	ハンマードリル	1
	ハンマー	1
	携帯用コンクリート破壊器具	1
	削岩機	1
検索用器具		
	簡易画像探索機	1
山岳救助用器具		
	登山器具一式	1
	バスケット担架	3

区分	資機材名	数量	
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1	
	油圧カッター	1	
	可搬ウィンチ	3	
	マンホール救助器具	2	
	マット型空気ジャッキ	1	
	大型油圧スプレッダー	1	
隊員保護用器具	救助用具支柱器具	4	
	チェーンブロック	1	
	耐電手袋	15	
	耐電衣	10	
	耐電ズボン	10	
	耐電長靴	14	
	化学防護服	16	
	陽圧式化学防護服	4	
	放射線防護服	4	
	防毒マスク	23	
	耐熱服	4	
	水難救助用器具	救命ボート	2
		船外機	2
救命胴衣		40	
救命浮環		7	
胴長靴		5	
水中投光器		22	
潜水器具一式		10	

区分	資機材名	数量
呼吸器保護用器具	空気呼吸器	48
	酸素呼吸器	2
	簡易呼吸器	2
	防塵マスク	32
	送排風機	1
	空気ボンベ	95
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	2
	有毒ガス測定器	3
	酸素濃度測定器	2
	化学剤検知器	2
	放射線測定器	1
	検電器	3
その他の救助資器材	発電機	12
	投光器	9
	車両移動器具	1
	熱画像直視装置	1
	可搬ブロアー	1
	レスキューサポート台	1
	緩降機	2
	エアーバックフセー	2
ガラス切断用式資器材一式	1	

(6) 多重無線一覧表

(R5-4-1)

局	呼出名称	設置場所	備考
固定局	くだまつしょうぼう	下松市消防本部	各基地局の通信網として使用
	くだまつかまがら	釜柄基地局	
	くだまついくのやみなみ	地域交流センター	
	くだまつしやくしよ	下松市役所	

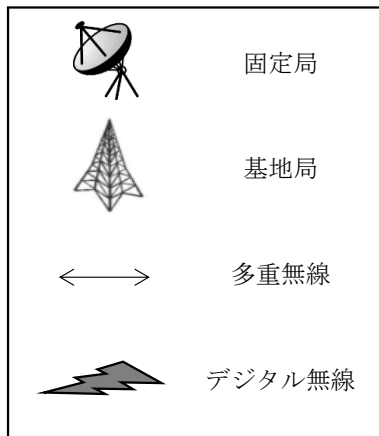
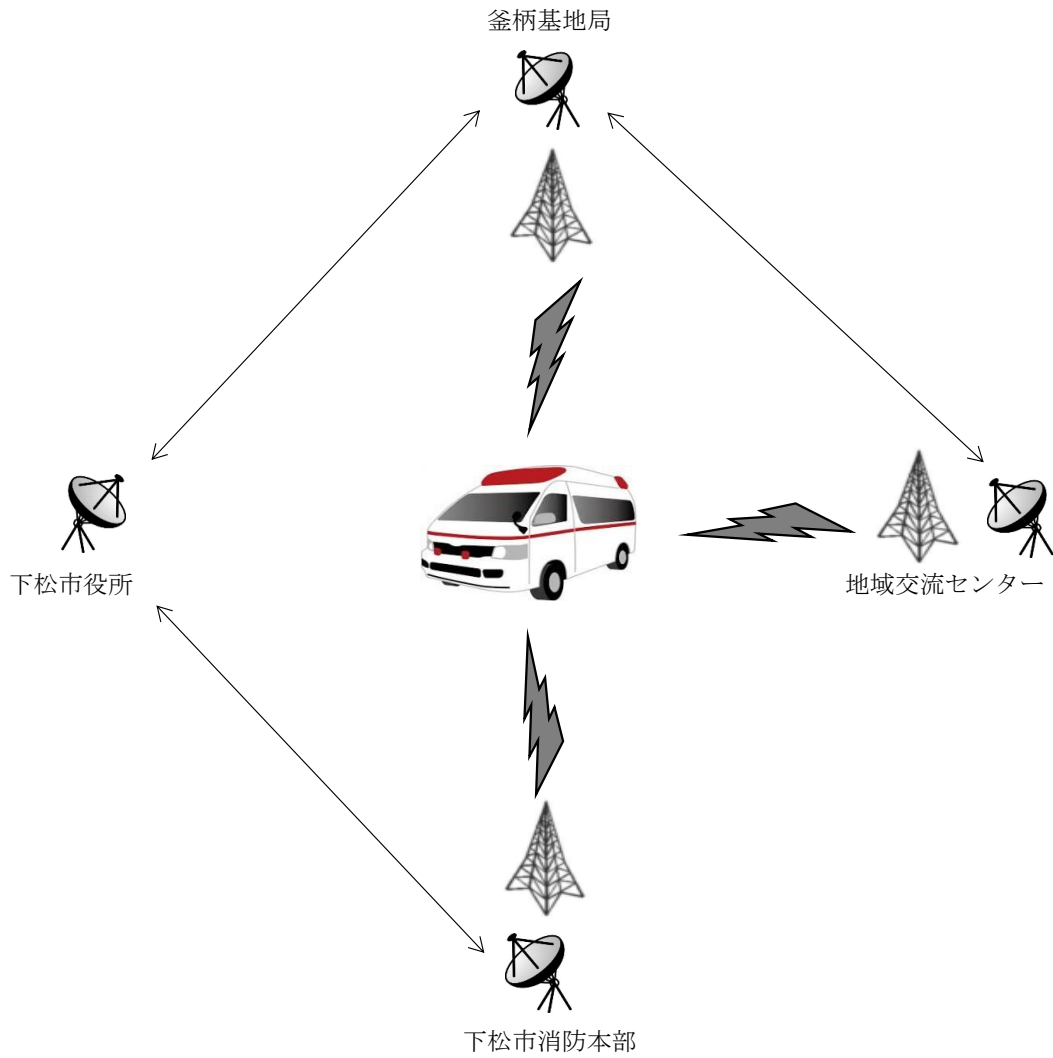
(7) 無線局一覧表 (デジタル)

局	型	呼出名称	設置場所	送信出力	備考
基地局		くだまつしょうぼう	下松市消防本部	20W	活動波 1 活動波 2 主運用波 統制波
			釜柄基地局	10W	
			地域交流センター	10W	
陸上移動局	車載型	くだまつ1	査察車	5W	
		くだまつ2	救急車3号	5W	
		くだまつ3	救急車1号	5W	
		くだまつ4	指揮広報車	5W	
		くだまつ5	荒神号	5W	
		くだまつ6	妙見号	5W	
		くだまつ7	北斗号	5W	
		くだまつ8	連絡車2号	5W	
		くだまつ9	城山号	5W	
		くだまつ10	資機材搬送車	5W	
		くだまつ11	作業車	5W	
		くだまつ12	連絡車1号	5W	
		くだまつ13	天王号	5W	
		くだまつ14	救急車4号	5W	
		くだまつ15	青柳号	5W	
		くだまつ16	救助工作車	5W	
		くだまつ17	鷲頭号	5W	
		くだまつ18	八幡号	5W	
		くだまつ19	若水号	5W	
		くだまつ20	救急車2号	5W	
		くだまつ21	指揮車	5W	
		携帯型	くだまつ201 く くだまつ213	防火衣装着室	2W
	可搬型	くだまつ700	通信機械室	5W	

(8) 無線局一覧表 (アナログ)

局	呼出名称	設置場所	送信出力	備考
基地局	くだまつしょうぼう	指令室	10W	防災相互通信波
陸上移動局	くだまつ21	指揮車	10W	
	くだまつ22	救急車3号	10W	
	くだまつ103	署事務室	5W	
	くだまつ116	署事務室	5W	
	くだまつ117	署事務室	5W	
	くだまつ301~320 (くだまつ316~320)	防火衣装着室	1W	署活系無線 (防災相互通信波)
固定局	ぼうさいくだまつしょうぼう	指令室	5W	山口県防災行政無線

(9) 無線通信系統図



2 通信指令室

(1) 指令台

119番通報受付から出動車両の自動編成、出動指令までの一連の事案処理を行う指令管制の主要装置部です。輻輳時には1席の指令台で2事案対応できるため、2席の指令台で最大4事案扱うことができます。

(R5-4-1)

名 称	数 量	名 称	数 量
指令台	2 席	聴覚障害者等緊急通報受信 F A X	1 回線
固定・I P 電話 1 1 9 受信回線	4 回線	緊急通報受信回線	1 回線
携帯 1 1 9 受信回線	4 回線	専用線	2 回線
携帯 1 1 9 転送受信回線	2 回線	局線	2 回線
HEL P N E T 受信回線	2 回線	自動順次指令回線	2 回線
衛星緊急受信回線	1 回線	署所端末装置	1 基
災害情報自動案内受信回線	2 回線	指令情報出力装置	1 基

(2) 災害用高所監視カメラシステム

広域監視用カメラは釜柄基地局に1基配置されており市内全域の視野を確保しています。カメラに映る災害状況により、消防部隊の増強判断を行ったり、災害現場への的確な情報提供を行ったりすることで、効果的な消防活動をサポートし被害の軽減を図ります。また周辺監視用カメラは下松市役所屋上に1基配置されています。

(R5-4-1)

名 称	数 量	名 称	数 量
監視用カメラモニター	1 基	カメラ操作卓	1 基

(3) 260MHz消防救急デジタル無線システム

釜柄、生野屋南、消防本部に基地局を配置し、デジタル無線設備を整備しています。適切な基地局配置により管内の通信エリアを確保しています。高機能指令システムとの連携により音声だけでなくデータ通信も可能になるというメリットがあります。一方、消防救急活動における個人情報の保護の観点から、デジタル化により通信情報の秘匿性が確保されています。

(R5-4-1)

名 称	数 量	名 称	数 量
高機能遠隔制御装置	4 基	管理監視制御卓	1 基
基地局無線装置	3 基	無線回線制御装置	1 基

3 消防水利

(1) 消防水利の現況

(R5-4-1)

種 別			設 置 数	種 別			設 置 数	
消 火 栓	公 設	地 上	0	水 槽	公 設	20 ~ 39 t	9	
		地 下	635			40 ~ 100 t	168	
		合計	635			私 設	20 ~ 39 t	0
	配 管 別	75 ミリ	102		私 設	40 ~ 100 t	46	
		100 ミリ	102			合計		223
		150 ミリ	207			そ の 他	河 川	21
		200 ミリ	97				プ ー ル	16
		250 ミリ	48		合 計		37	
		300 ミリ	48					
		350 ミリ	8					
		400 ミリ	7					
		450 ミリ	7					
		600 ミリ	9					
					総合計		895	

(4年度設置数)

	消 火 栓	水 槽	自 然 水 利	合 計
一 般 事 業 に よ る 設 置	4	0	0	4
開 発 行 為 に よ る 設 置	1	3		4
合 計	5	3	0	8

火 災

少年消防クラブ防火標語優秀作品(下松市)

『 消せたかな 自分をうたがえ 再確認 』

花岡小学校 6年 渡邊 達仁

1 火 災

(1) 火災発生状況の比較

(令和4年中)

種別		区別	全 国 (確 定 値)	山 口 県 (確 定 値)	下 松 市 (確 定 値)
出 火 件 数	建 物		20,167	249	12
	林 野		1,239	33	0
	車 両		3,409	45	4
	船 舶		78	5	0
	航 空 機		2	0	0
	そ の 他		11,419	271	10
	合 計		36,314	603	26
焼損 面積	建 物 (㎡)		1,064,873	14,911	531
	林 野 (a)		60,517	297	0
死者 (名)			1,452	17	3
負傷者 (名)			5,750	70	2
損害額 (千円)			101,742,714	910,813	19,731

令和4年中における全国の総出火件数は、36,314件でした。これは、おおよそ1日あたり 100件、14分ごとに1件の火災が発生したことになります。

出火原因別にみると、「たばこ」3,209件(8.8%)、「たき火」3,105件(8.6%)、「こんろ」2,771件(7.6%)、「放火」2,242件(6.2%)、「電気機器」1,960件(5.4%)の順となっています。また、「放火」及び「放火の疑い」を合せると、3,710件(10.2%)で高い割合を示しています。

火災による総死者数 1,452人のうち住宅火災における死者(放火自殺者等を除く)は1,173人で前年より207人増加しています。このうち65歳以上の高齢者は、829人で、住宅火災による死者数の70.7%を占めています。

下松市においては26件の火災が発生し、前年度と同件数となっています。

火災種別では建物火災が12件、その他の火災が10件と多く発生しています。

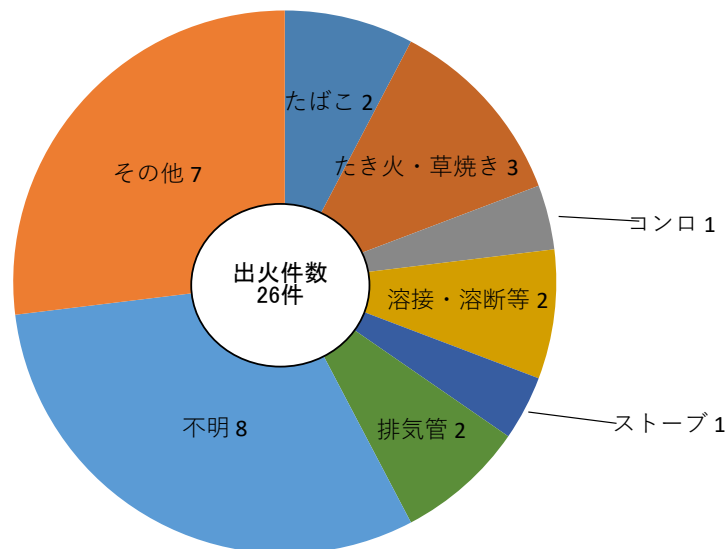
(2) 月別出火件数・損害額

(令和4年中) (損害額：千円)

種別 月別	建 物		林 野		車 両		船 舶		そ の 他		計	
	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
1月	1	2,411							1	0	2	2,411
2月	1	30			1	946			1	0	3	976
3月	2	1,866							1	0	3	1,866
4月	2	154							1	20	3	174
5月	1	175							2	0	3	175
6月												
7月												
8月					1	2,272			1	0	2	2,272
9月									2	1	2	1
10月					2	3,052					2	3,052
11月	2	3,402							1	0	3	3,402
12月	3	5,402									3	5,402
計	12	13,440			4	6,270			10	21	26	19,731

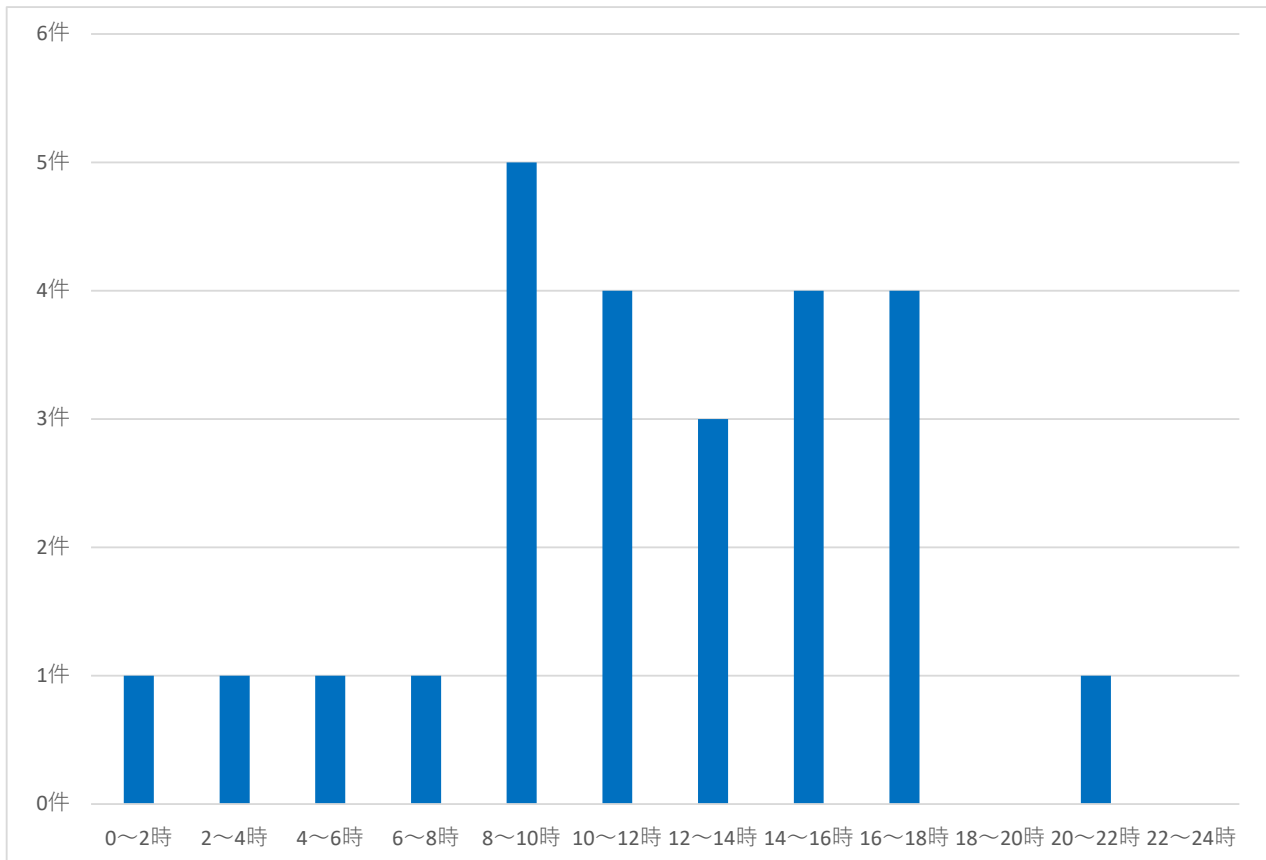
(3) 原因別出火件数

(令和4年中)



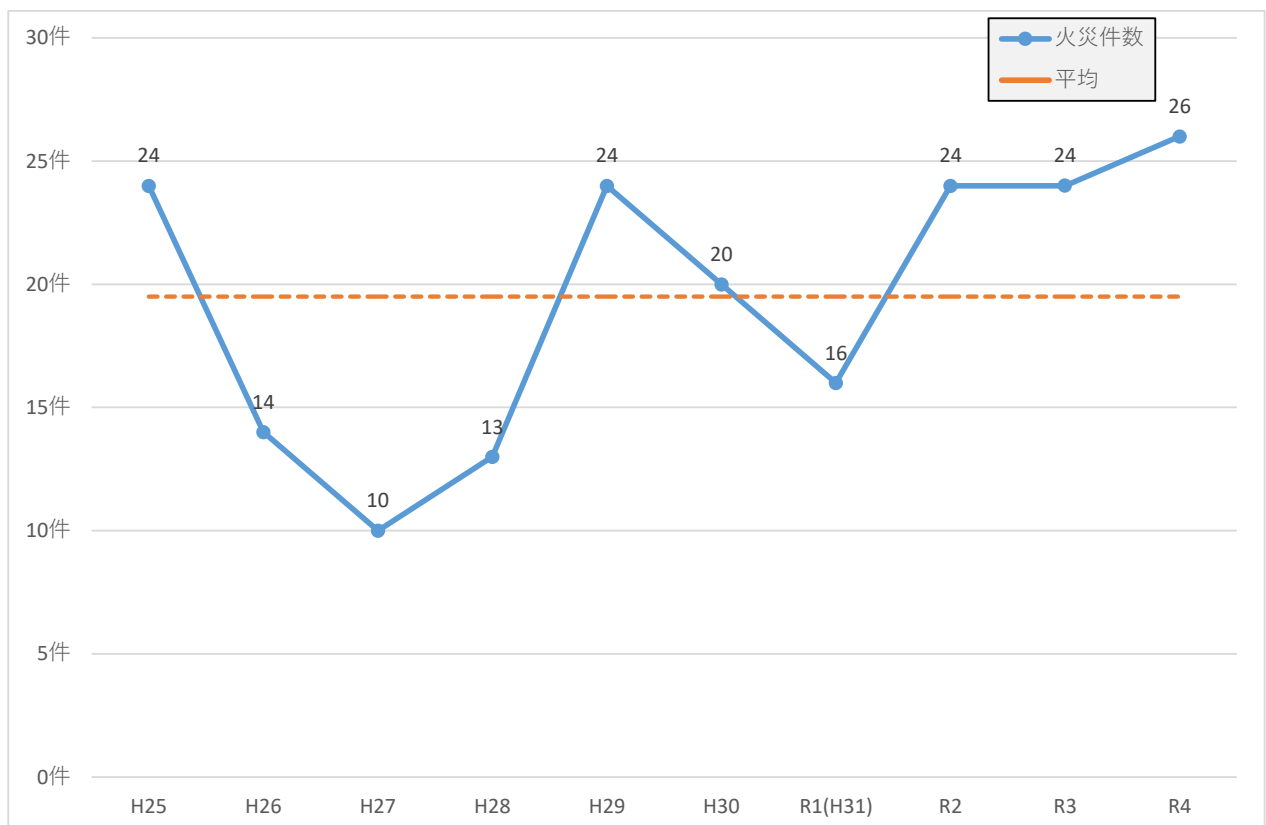
(4) 時間帯別出火件数

(令和4年中)

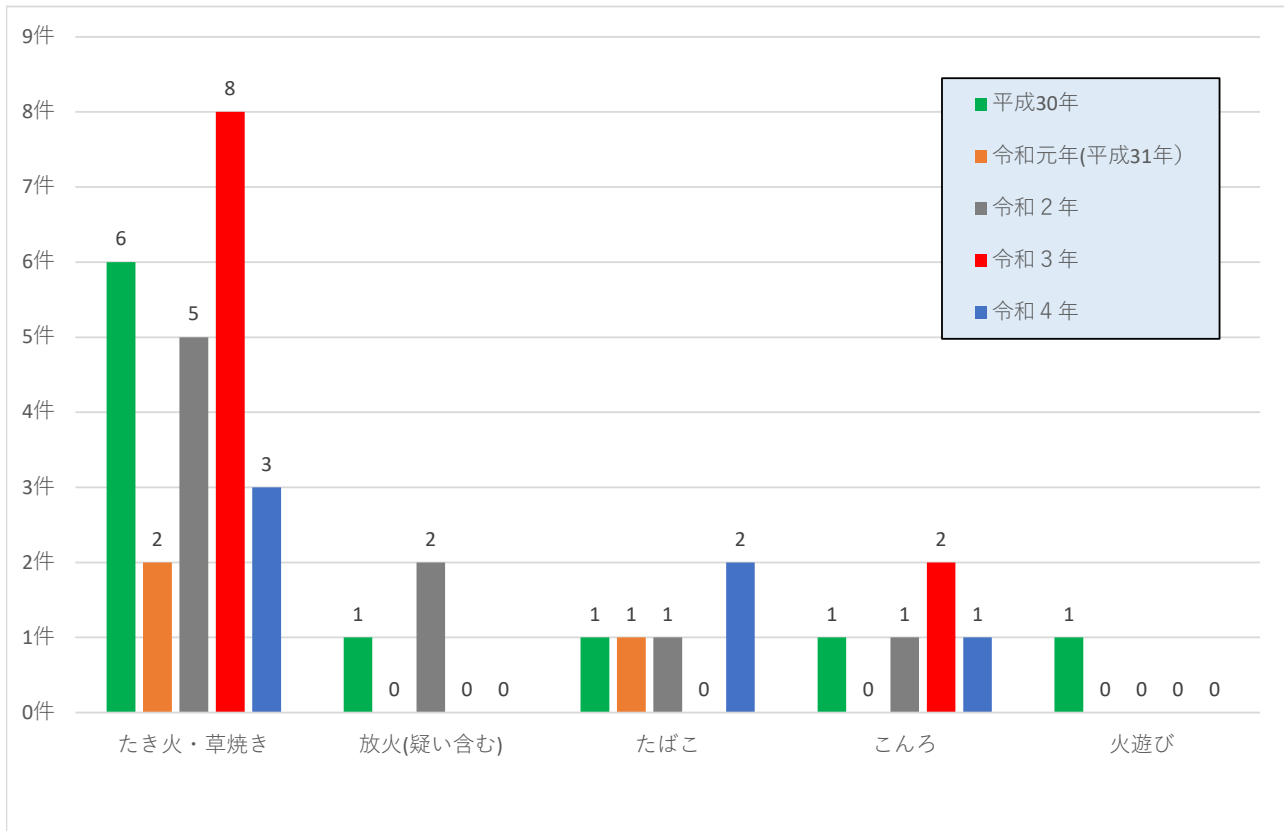


(5) 過去10年間における出火件数の推移

(令和4年中)



(6) 過去5年間における出火原因の推移



(7) 過去5年間の出火件数、焼損面積及び損害額の比較

種別		年				
		30	元	2	3	4
出火件数	建物	6	7	12	10	12
	林野	0	0	0	0	0
	車両	2	0	3	3	4
	船舶	0	0	0	0	0
	その他	12	9	9	11	10
	計	20	16	24	24	26
焼損面積	建物 m ²	606	663	1,363	227	531
	林野 a	0	0	0	0	0
損害額(千円)	建物	10,911	17,964	30,576	33,105	13,440
	林野	0	0	0	0	0
	車両	590	0	114	3	6,270
	船舶	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	21
	計	11,501	17,964	30,690	33,108	19,731

(8) 市内における過去の主な火災

- ① 死者を生じたもの（放火自殺者を除く） ④ 損害額が1,000万円以上のもの
 ② 死者及び負傷者の合計が5名以上のもの ⑤ その他特殊な原因等消防上特に参考となるもの
 ③ 焼損面積が建物火災500㎡以上、林野火災2ha以上のもの

(令和4年度末時点)

火災種別	出火年月日	出火時分	出火場所	損害額(千円)	焼損面積	死者	負傷者	焼損棟数	り災世帯数	り災人員
建	S25.7.16	3:30	笠戸島 江の浦	5,000	2,475㎡			5		
建	S25.11.29	17:50	古川町	5,000	660㎡			1		
建	S26.1.18	10:30	花岡	5,000	683㎡			1		332
建	S26.12.18	1:30	末武	1,808	442㎡			1		
船	S27.7.22 23	20:05	笠戸島 江の浦	0	1隻					
建	S27.9.30	11:05	大谷	6,466	2,494.8㎡			4	41	177
建	S28.8.18	4:53	大海町	260	62.7㎡	1		1		
建	S28.9.21	3:30	笠戸島 深浦	9,200	561㎡			11	5	27
建	S28.11.27	1:24	高砂町	5,030	610.5㎡			5	4	58
建	S29.12.6	20:45	所田	11,500	1,099㎡			1		
建	S31.3.20	23:45	笠戸島 深浦	2,450	181㎡			5	5	
建	S31.9.14	23:34	松神町	1,160	184㎡	1		3	3	11
建	S31.10.28	6:20	笠戸島 江の浦	6,205	497㎡			1		
建	S32.3.2	1:09	米川 瀬戸	3,570	666㎡			9	5	27
建	S34.8.10	21:15	港町	273,480	2,046㎡			3		
建	S38.3.11	18:10	元町	22,856	501.6㎡			4	1	
建	S38.4.3	23:50	西市	3,220	82.5㎡			1		

火災種別	出火年月日	出火時分	出火場所	損害額 (千円)	焼損面積	死者	負傷者	焼損棟数	り災世帯数	り災人員
建	S38. 8. 10	4:30	笠戸島 江の浦	52,600	1,479m ²			1		
林	S40. 3. 6	17:20	笠戸島 本浦	7,025	0.40ha		3			
林	S40. 4. 3	11:35	笠戸島 深浦	8,874	1.74ha					
建	S43. 3. 2	0:00	末光	900	151.8m ²	1		1	4	12
林	S43. 3. 10	11:30	魚ヶ辺 赤松川	14,620	0.8ha					
船	S46. 12. 18	11:30	笠戸	20,000	1隻					
建	S47. 12. 16	4:40	相生町	3,444	318m ²		1	1	1	4
建	S48. 10. 31	20:35	東豊井	4,687	224m ²			1		
林	S49. 4. 2	15:30	米川 瀬戸	5,650	13.1ha					
船	S49. 5. 14	11:40	笠戸	95,000	1隻		1			
建	S50. 8. 2	11:30	末武下	4,680	598m ²			5	6	25
建	S54. 4. 2	1:28	南花岡	14,850	200m ²			1	1	5
建	S54. 8. 27	17:32	幸町	11,936	96m ²	1		1	1	3
建	S54. 12. 19	2:50	平田西	6,180	91m ²	3		1	1	6
建	S55. 9. 23	23:40	花岡 大黒町	7,680	198m ²	1		1	4	4
他	S55. 11. 10	12:00	切山 半田	0	0m ²	1				
建	S56. 12. 13	14:58	川瀬	1,847	44m ²	1		2	2	1
建	S56. 2. 18	16:45	昭和団地	3,016	28m ²	1		1	1	3
建	S56. 4. 28	18:47	平田西	22,143	310m ²		1	2	2	3
建	S57. 11. 30	23:55	南香力	1,291	94m ²	1		2	2	5

火災種別	出火年月日	出火時分	出火場所	損害額 (千円)	焼損面積	死者	負傷者	焼損棟数	り災世帯数	り災人員
建	S58. 3. 22	4:18	旭町	7,999	315m ²	1		2	2	9
建	S58. 10. 21	1:30	古川町	5,269	248m ²			3	2	3
林	S59. 3. 10	11:21	笠戸島 深浦	4,431	3.90ha		2			
建	S60. 7. 16	0:47	相生町	13,312	221m ²			3	4	6
建	S60. 10. 3	10:11	東海岸通り	16,429	225m ²		1			
建	S62. 1. 27	16:09	香力南	1,063	118m ²	1		2	2	10
建	S63. 6. 19	1:33	中市	9,380	109m ²		1	1	1	4
建	H1. 5. 20	20:47	西豊井	115,729	676m ²			2	2	6
建	H1. 7. 22	15:03	末武下	10,674	477m ²			4	3	11
建	H1. 8. 20	4:19	東海岸通り	20,577	290m ²			1		
他	H2. 5. 15	8:14	生野屋	0	0m ²	1				
建	H3. 4. 6	16:13	西豊井	39,463	78m ²		1	1	1	5
建	H3. 9. 14	12:05	末武中	14,067	131m ²			1	1	4
建	H5. 1. 6	4:15	西豊井	12	4m ²	1		1	1	1
車	H5. 6. 2	3:12	山陽自動車道下り線 生野屋第3トンネル入口	17,513	2台	1				
建	H7. 7. 18	2:10	末武下	7,772	104m ²	1		1	1	4
他 (爆発)	H8. 5. 22	18:20	東豊井	0	0m ²		8			
建	H9. 5. 11	17:25	末武上	2,982	135m ²	1		1	1	5
車	H9. 9. 23	6:30	来巻字歌舟	30	1台	1				
建	H10. 2. 4	10:19	香力	4,973	103m ²	1		1	1	1

火災種別	出火年月日	出火時分	出火場所	損害額(千円)	焼損面積	死者	負傷者	焼損棟数	り災世帯数	り災人員
建	H10. 2. 13	22:30	二宮町	12,530	168m ²			2	2	4
建	H10. 4. 10	0:10	平田	15,768	0m ²					
車	H11. 6. 19	17:14	末武上	220	1台		5			
車	H14. 3. 10	21:40	山陽自動車道下り線 下松SA駐車場	441	1台	1				
船	H15. 12. 24	15:00	下松沖 伊予灘 1号ブイ付近	103,800	1隻	1				
建	H17. 2. 13	23:55	東豊井	11,000	126m ²			1	1	4
建	H17. 11. 11	21:15	笠戸島	47,904	464m ²			1		
建	H17. 11. 19	4:03	末武上	1,491	88m ²	1		2	4	5
船	H19. 7. 10	11:25	笠戸島	0	0m ²		14			
建	H20. 11. 9	12:40	美里町	1,345	70m ²	1		1	3	6
車	H20. 11. 25	10:35	笠戸島はなぐり	281	1台	1				
船 (爆発)	H20. 11. 25	16:00	笠戸島	0	1隻	1	4			
車	H22. 3. 29	22:27	切山	26,179	1台					
建	H22. 8. 14	22:00	都町	21,497	465m ²			4	4	10
建	H22. 12. 29	14:50	河内	2,398	136m ²	1		2	2	10
建	H24. 2. 18	2:18	生野屋西	3,222	183m ²	1	2	1	3	6
建	H24. 10. 21	不明	西豊井	1	1m ²	1		1	1	1
建	H25. 3. 23	8:45	東豊井	3,499	164m ²	1	1	3	3	5
他	H29. 2. 8	17:20	生野屋西	0	0m ²	1				
建	H29. 2. 15	23:35	東海岸通り	53,859	1900m ²			2		

火災種別	出火年月日	出火時分	出火場所	損害額(千円)	焼損面積	死者	負傷者	焼損棟数	り災世帯数	り災人員
建	H30. 6. 24	3:50	潮音町5丁目	7,402	430m ²	1		4	3	7
建	H30. 7. 2	15:30	大字末武下	2,567	176m ²	1		3	2	2
建	R1. 5. 5	14:34	美里町	2,085	135m ²	1		2	2	4
建	R2. 6. 13	2:30	西市	6,166	233m ²	1		3	2	6
建	R2. 9. 23	23:30	西市	10,164	462m ²		2	5	6	10
建	R2. 12. 30	19:10	生野屋	2,799	121m ²	1		5	4	7
建	R3. 1. 19	12:00	大字西豊井	10,475	0m ²			1		
建	R3. 6. 4	3:45	新川2丁目	11,710	127m ²	1	1	4	5	7
建	R4. 11. 5	4:50	瑞穂町4丁目	0	0m ²	1		1	1	1
建	R4. 12. 22	3:20	大字笠戸島	1,661	157m ²	2		4	3	7

救 急 ・ 救 助

高齢者優良防火標語

『 火の用心 出かける前の 習慣に 』

磯永 シヅ子

1 救 急

(1) 救急業務の状況

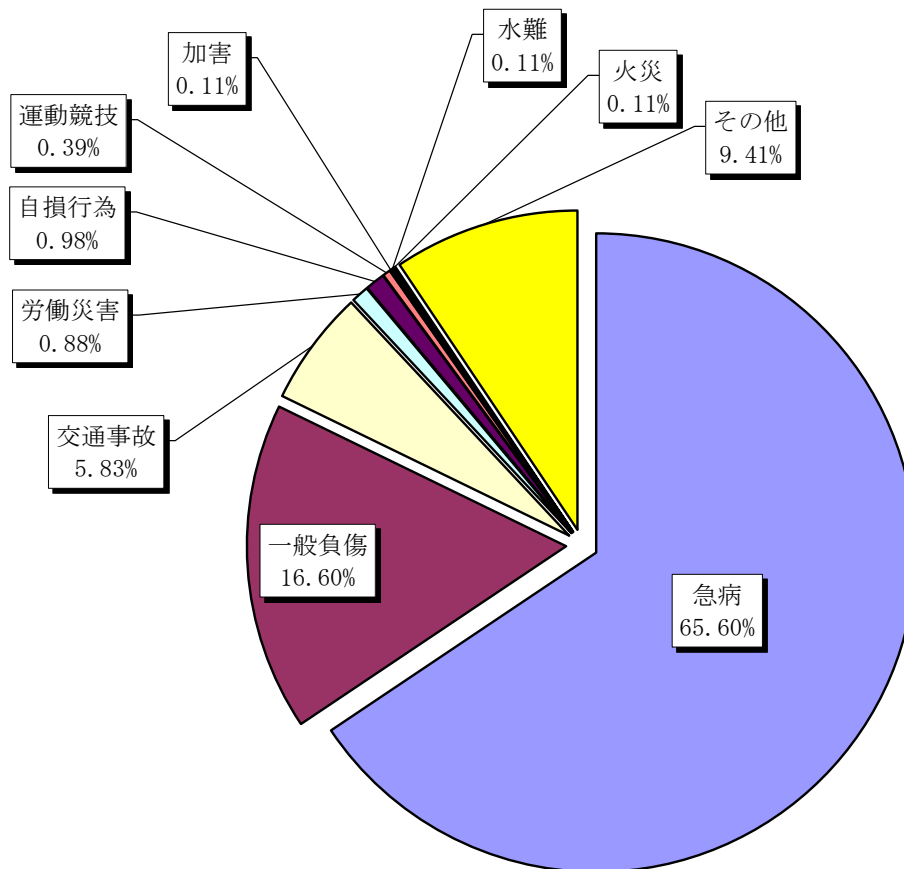
近年、救急業務を取り巻く環境は、少子高齢化、疾病構造の変化、市民ニーズの多様化等により著しく変化する中、令和4年の救急出動件数は前年より約2割増加し、過去最高となりました。

昭和41年に救急業務を開始し、救急需要に対し適切に応えるために、平成8年から救急救命士の乗務を開始、平成28年からは指導救命士を養成し、高規格救急車、高度救命処置用救急資機材を整備するなど救急業務の充実強化を図るとともに市民を対象とした応急手当の普及啓発活動を実施しています。

当市救急隊は、傷病者の症状を的確に判断して適切な応急処置を実施し、適切な医療機関に搬送するため、指導救命士を中心とした教育訓練に努めています。

令和4年中の救急出動件数は下の表の通りで、2,849件となり、中でも急病の占める割合は1,869件(65.6%)で半数を超えています。

(令和4年中)



事故種別	急病	一般負傷	交通事故	労働災害	自損行為	運動競技	加害	自然災害	水難	火災	その他	合計
件数	1,869	473	166	25	28	11	3	0	3	3	268	2,849

(2) 時間別救急出場件数

(令和4年中)

種別 時間	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
0 ~ 2				3	1		11			84	1	100
2 ~ 4					2		9		2	64	2	79
4 ~ 6	1			5			10		1	84	1	102
6 ~ 8				15			43		1	159	1	219
8 ~ 10	1		1	28	4	2	70		1	246	40	393
10 ~ 12			1	25	6	2	69		4	224	56	387
12 ~ 14			1	24	5	1	47		3	191	62	334
14 ~ 16				20	2	3	45		4	212	36	322
16 ~ 18				24	4	2	64		1	175	47	317
18 ~ 20	1			9	1	1	45	3	6	168	13	247
20 ~ 22				8			35		4	150	6	203
22 ~ 24				5			25		1	112	3	146
合 計	3		3	166	25	11	473	3	28	1869	268	2849

(3) 曜日別救急出場件数

(令和4年中)

種別 曜日	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
月				18	5	1	61	1	7	281	46	420
火			1	29	2	1	62		4	269	50	418
水				23	6	2	68		2	280	50	431
木			2	25	4	2	80		7	237	37	394
金	2			26	4	1	60			277	44	414
土	1			21	4	1	68	2	5	267	26	395
日				24		3	74		3	258	15	377
合 計	3		3	166	25	11	473	3	28	1869	268	2849

(4) 月別救急出場件数及び搬送人員

(令和4年中)

種別 月別		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	計
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	
1月	出場 件数	1			16			36	1		153	20	227
	搬送 人員	1			15			25	1		131	20	193
2月	出場 件数				9	1		39		1	137	19	206
	搬送 人員				8	1		34		1	119	18	181
3月	出場 件数				8	1		29		1	133	28	200
	搬送 人員				6	1		26			119	25	177
4月	出場 件数			1	17	2		37		3	150	26	236
	搬送 人員				17	2		36			134	26	215
5月	出場 件数				17	1	1	41		6	123	13	202
	搬送 人員				13	1	1	34		3	109	13	174
6月	出場 件数			1	9	3		26		4	117	24	184
	搬送 人員			1	9	3		24		2	107	24	170
7月	出場 件数				9	1	3	38		1	198	21	271
	搬送 人員				8	1	3	32		1	171	21	237
8月	出場 件数				16	4	1	38		6	204	22	291
	搬送 人員				11	4		32		3	151	22	223
9月	出場 件数	1			14	3	1	40			145	20	224
	搬送 人員	1			14	3	1	32			120	18	189
10月	出場 件数			1	13	2	2	43	1	1	166	28	257
	搬送 人員			1	14	2	2	36	1	1	135	27	219
11月	出場 件数	1			20	4	1	51	1	3	139	28	248
	搬送 人員	1			17	4	1	41		2	123	28	217
12月	出場 件数				18	3	2	55		2	204	19	303
	搬送 人員				16	3	2	48		2	170	19	260
合計	出場 件数	3		3	166	25	11	473	3	28	1869	268	2849
	搬送 人員	3		2	148	25	10	400	2	15	1589	261	2455

(5) 事故種別医療機関搬送人員

(令和4年中)

種別		急病		交通事故		一般負傷		その他		計		
		管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	
告示の別 開設者別												
救急告示医療機関	国立	11	11					9	9	20	20	
	公立	125	125	12	12	27	27	15	15	179	179	
	公的	623	623	40	40	90	90	203	203	956	956	
	私的	病院	723	29	82		240	1	74	1	1119	31
		診療所										
	計	1482	788	134	52	357	118	301	228	2274	1186	
その他の医療機関	国立							2	2	2	2	
	公立							2	2	2	2	
	公的											
	私的	病院	59	51	2	2	7	7	11	11	79	71
		診療所	48	10	12		36	2	2	1	98	13
	計	107	61	14	2	43	9	17	16	181	88	
計	国立	11	11					11	11	22	22	
	公立	125	125	12	12	27	27	17	17	181	181	
	公的	623	623	40	40	90	90	203	203	956	956	
	私的	病院	782	80	84	2	247	8	85	12	1198	102
		診療所	48	10	12		36	2	2	1	98	13
	計	1589	849	148	54	400	127	318	244	2455	1274	
その他の場所	接骨院等											
	その他											
	計											
合計		1589	849	148	54	400	127	318	244	2455	1274	

※1 管外とは、管轄区域外の医療機関に搬送した人数。

※2 救急告示医療機関とは、都道府県知事が一定の基準に達していると認めた医療機関をいう。下松市では、周南記念病院と下松中央病院が該当している。

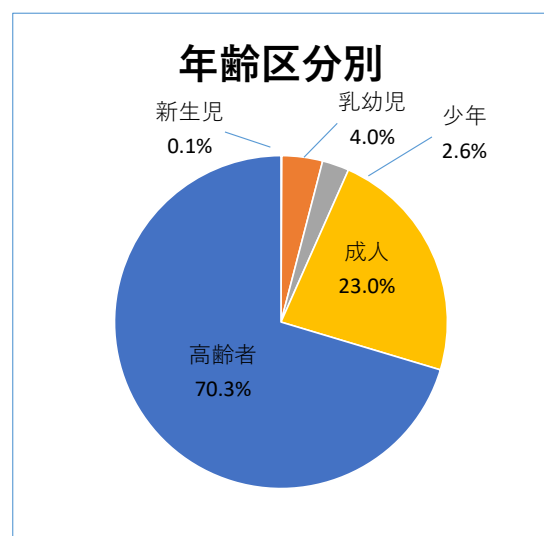
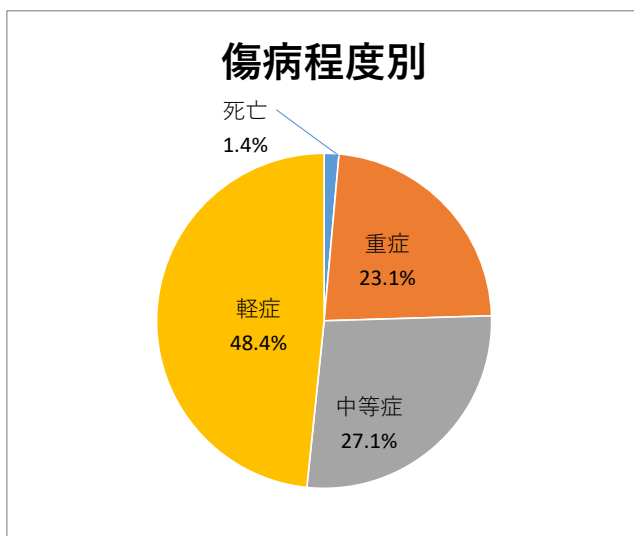
(6) 傷病程度別・年齢区分別搬送人員

(令和4年中)

事故種別	傷病程度別				年齢区分別				
	死亡	重症	中等症	軽症	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
火災		1	2					1	2
自然災害									
水難	1	1							2
交通事故		14	9	125		4	16	76	52
労働災害		7	3	15				22	3
運動競技			2	8			8	2	
一般負傷	5	112	63	220		15	7	42	336
加害		1		1			1		1
自損行為	2	2	6	5			3	9	3
急病	27	323	458	781	1	77	27	357	1127
その他		106	123	32	1	1	2	55	202
計	35	567	666	1187	2	97	64	564	1728
構成比 (%)	1.4	23.1	27.1	48.4	0.1	4.0	2.6	23.0	70.3

※新生児：生後28日未満 乳幼児：生後28日以上満7歳未満

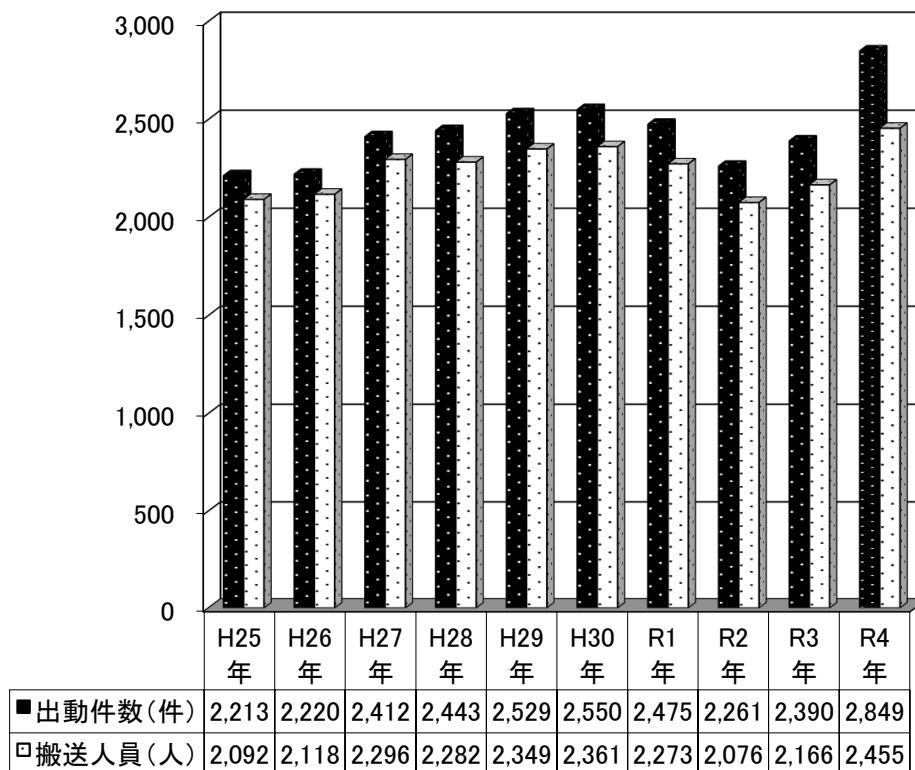
少年：満7歳以上満18歳未満 成人：満18歳以上満65歳未満 高齢者：満65歳以上



(7) 過去5年間の種別出場件数及び搬送人員

年別	種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
		平成30年	出場件数	2		3	194	22	17	425	3	23	1628
	搬送人員	1			200	22	18	387	2	16	1487	228	2361
令和元年	出場件数	1		2	163	26	8	427	6	21	1606	215	2475
	搬送人員	2		1	158	26	8	387	3	13	1468	207	2273
令和2年	出場件数	2		1	167	35	17	341	5	13	1429	251	2261
	搬送人員	3			158	33	17	310	4	8	1306	237	2076
令和3年	出場件数	3		1	146	27	6	392	8	20	1526	261	2390
	搬送人員	3		1	134	27	6	353	6	12	1376	248	2166
令和4年	出場件数	3		3	166	25	11	473	3	28	1869	268	2849
	搬送人員	3		2	148	25	10	400	2	15	1589	261	2455

(8) 過去10年間の救急出場状況の推移



(9) 過去5年間の心肺蘇生実施数と救急救命士による特定行為実施数

年 別	心 肺 蘇 生 実 施			特 定 行 為				
		救急救命士 同乗	除細動	気管挿管	アドレナリン 投与	静脈路確保		ブドウ糖投与
						CPA前	CPA後	
平成30年	67	65	4	29	32	18	36	7
令和元年	59	57	1	37	31	14	34	6
令和2年	43	43	3	24	28	9	28	6
令和3年	54	54	1	28	33	15	33	10
令和4年	60	60	6	35	45	11	47	9
合 計	283	279	15	153	169	67	178	38

(10) 過去5年間の心肺蘇生実施状況

年 別	心肺蘇生 件数	一般の人が 心肺蘇生を した件数	病院収容前 に心拍が再 開した件数	1ヶ月の 生存件数	心肺蘇生をした年齢の割合		
					65歳以上	65歳未満 45歳以上	45歳未満
平成30年	67	32	7	6	56	8	3
令和元年	59	21	4	3	54	4	1
令和2年	43	24	5	1	38	3	2
令和3年	54	29	4	1	46	7	1
令和4年	60	34	8	3	56	3	1
合 計	283	140	28	14	250	25	8

2 救 助

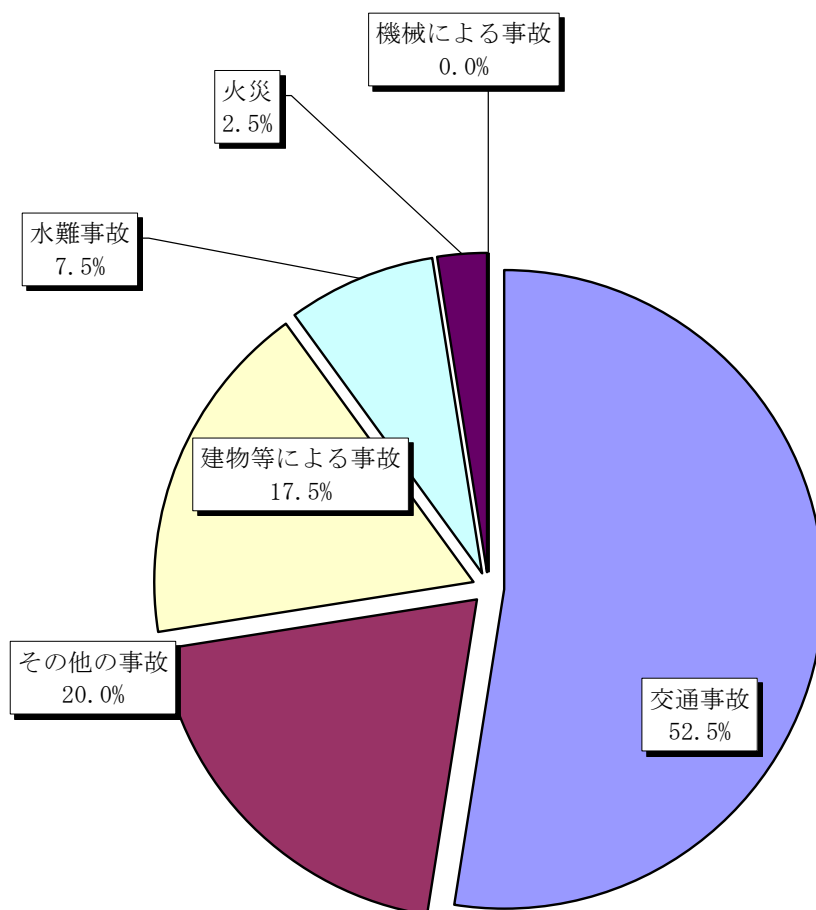
(1) 救助業務の状況

救助業務は近年、都市化の進展、社会経済の発展、生活様式の変化等により、災害及び事故の態様も特殊化、大規模化し、交通事故、水難事故、労災事故、ガス事故等による人命の危険が増大するなかで、人命確保のためには、多様な救助活動が要請されてきています。これらの災害等に的確に対応するため、救助資機材の整備はもとより、救助隊員の技術を向上させるため研修訓練に取り組んでいます。

令和4年中は40件の救助出動があり、20名を救助しました。

事故種別は交通事故21件、その他の事故8件、建物等による事故7件、水難事故3件、建物火災1件となっています。

(令和4年中)



事故種別	交通事故	その他の事故	建物等による事故	水難事故	火災	機械による事故	風水害等自然災害	ガス及び酸欠事故	破裂事故	合計
件数	21	8	7	3	1	0	0	0	0	40

(2) 過去5年間の種別出場件数及び救助人員

年別	種別	火	交	水	風	機	建	ガ	破	そ	合
		災	通	難	水	械	物	ス	裂	の	計
		災	事	事	害	による	等	及び	事	他	
		故	故	故	等	事故	による	酸	故	の	
					自然		事故	欠		事	
					災害			事		故	
								故			
平成30年	出場件数	3	7	3	3	0	2	0	0	9	27
	救助人員	3	9	2	1	0	2	0	0	9	26
令和元年	出場件数	1	14	2	0	0	5	0	0	7	29
	救助人員	1	11	1	0	0	3	0	0	5	21
令和2年	出場件数	3	13	1	0	2	8	1	0	12	40
	救助人員	3	3	0	0	2	5	1	0	7	21
令和3年	出場件数	2	15	1	0	1	14	0	0	13	46
	救助人員	2	10	1	0	0	8	0	0	9	30
令和4年	出場件数	1	21	3	0	0	7	0	0	8	40
	救助人員	2	6	2	0	0	4	0	0	6	20

(3) 救助出動状況

(令和4年中)

	出 動 日 時	出 動 場 所	事 故 種 別	救 助 人 員
1	1月2日 10時22分	潮音町4丁目 市道香力大通り	交通事故	0
2	1月5日 14時54分	生野屋4丁目	交通事故	1
3	1月14日 18時15分	旗岡3丁目	建物等による事故	0
4	1月23日 5時20分	藤光町2丁目 市道西市通り	交通事故	0
5	2月3日 11時44分	生野屋南2丁目 国道2号線	交通事故	0
6	2月6日 13時28分	瑞穂町2丁目	建物等による事故	0
7	2月20日 11時58分	清瀬町3丁目	建物等による事故	1
8	2月27日 8時50分	南花岡3丁目 国道2号線	交通事故	0
9	3月8日 10時59分	潮音町4丁目	建物等による事故	2
10	4月5日 12時50分	大字末武中 国道2号線	交通事故	0
11	4月6日 9時18分	大字切山 国道2号線	交通事故	0
12	4月9日 17時28分	大字笠戸島 県道笠戸島線	交通事故	1
13	4月10日 22時32分	南花岡1丁目	その他の事故	1

	出 動 日 時	出 動 場 所	事 故 種 別	救 助 人 員
14	4月13日 16時39分	大字中須南 県道下松鹿野線	交通事故	0
15	4月17日 11時13分	清瀬町4丁目	その他の事故	1
16	4月18日 8時36分	大字下谷 市道山中若太郎線-1	交通事故	1
17	4月21日 12時17分	大字末武下 第2公共埠頭	水難事故	0
18	5月15日 17時27分	星が丘2丁目 市道星が丘幹線-1	交通事故	0
19	6月4日 9時06分	大字切山	その他の事故	0
20	6月23日 10時28分	大字末武下 第2公共埠頭	水難事故	1
21	6月25日 8時36分	大字末武中 市道川端通り	交通事故	0
22	6月25日 13時21分	大字末武中 市道川端通り	交通事故	0
23	6月28日 5時49分	南花岡2丁目	建物等による事故	1
24	7月15日 21時27分	潮音町4丁目	その他の事故	1
25	8月3日 7時10分	南花岡6丁目 国道188号線	交通事故	0
26	8月6日 17時53分	大字末武中	その他の事故	0
27	9月15日 10時14分	美里町4丁目	建物等による事故	0
28	9月16日 0時11分	大字末武中 国道2号線	交通事故	0
29	10月18日 9時01分	大字末武下 第2公共埠頭	水難事故	1
30	10月28日 21時56分	大字山田	その他の事故	1
31	11月1日 8時16分	南花岡1丁目 国道2号線	交通事故	0
32	11月2日 8時59分	美里町2丁目 県道下松鹿野線	交通事故	0
33	11月7日 18時46分	南花岡6丁目 県道下松鹿野線	交通事故	0
34	11月14日 4時11分	大字笠戸島	その他の事故	1
35	11月22日 13時16分	生野屋南1丁目 国道2号線	交通事故	1
36	11月24日 10時18分	大字末武上	その他の事故	1
37	11月27日 10時58分	生野屋西1丁目	交通事故	2
38	11月27日 12時26分	大字末武上 県道下松鹿野線	交通事故	0
39	12月15日 17時28分	楠木町1丁目	建物等による事故	0
40	12月22日 3時34分	大字笠戸島	火災	2

消 防 団

高齢者優良防火標語

『 警報器 飾りじゃないよ 命の絆 』

八木 一正

消 防 団 訓

(平成17年1月9日制定)

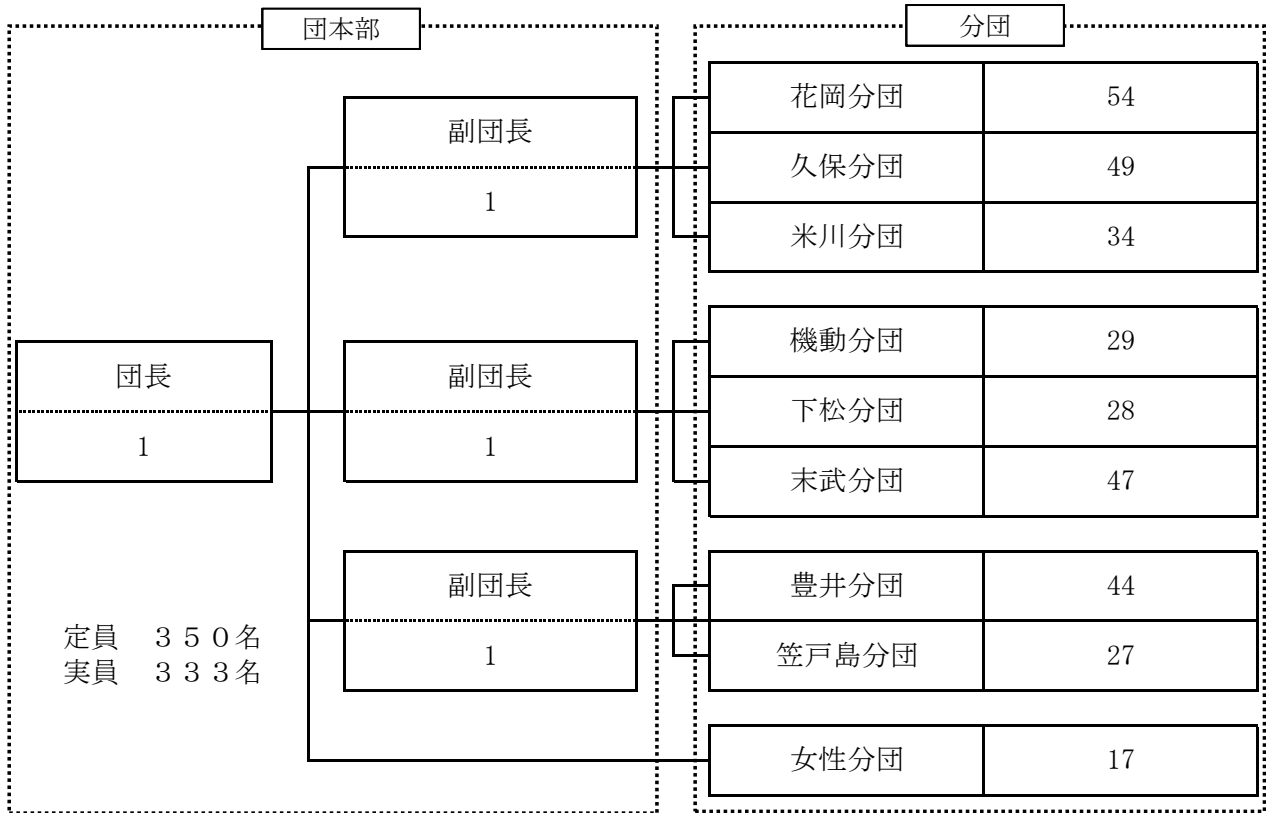
我々 下松市消防団員は旺盛な郷土愛のもと
安全安心のまちづくりのため情熱と誇りをもって
市民から信頼され期待される消防団を目指し

- 1 常に 良き市民として 地域に貢献する
- 1 常に 規律を守り 団結を堅持する
- 1 常に 技術の練磨と人格の高揚に努める

1 消 防 団

(1) 消防団組織図

(R 5-4-1)



(2) 分団別及び在職年数別消防団員数

分団	団本部	機動	下松	豊井	末武	笠戸島	花岡	久保	米川	女性	計
在職年数											
0年～5年以上 未満	0	3	8	5	8	4	10	13	2	5	58
5年～10年以上 未満	0	5	2	11	6	5	10	19	4	3	65
10年～15年以上 未満	0	5	7	4	7	2	7	8	7	0	47
15年～20年以上 未満	0	6	4	7	9	6	9	3	5	4	53
20年～25年以上 未満	0	4	3	6	5	0	9	3	4	4	38
25年～30年以上 未満	2	4	2	4	8	8	4	1	4	1	38
30年以上	2	2	2	7	4	2	5	2	8	0	34
計	4	29	28	44	47	27	54	49	34	17	333

(3) 年齢別及び階級別消防団員数

(R5-4-1)

区分 年齢別	小計		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
		うち女性消防団員							
18歳以下									
19歳	1								1
20歳	1								1
21歳	2								2
22歳	4								4
23歳	4								4
24歳	3								3
25歳									
26歳	4								4
27歳	3	1							3
28歳	8	1							8
29歳	8								8
30歳	8	1							8
31歳	4	1							4
32歳	2								2
33歳	10								10
34歳	6								6
35歳	4								4
36歳	9	1							9
37歳	7								7
38歳	9							1	8
39歳	11								11
40歳	17	1						1	16
41歳	12							2	10
42歳	13	2						5	8
43歳	11							3	8
44歳	10	2						3	7
45歳	12						1	4	7
46歳	10						2	1	7
47歳	11						2	1	8
48歳	10							4	6
49歳	14						4	6	4
50歳	10						2	3	5
51歳	8				1			2	5
52歳	12	1			1		5	5	1
53歳	6	2					1	2	3
54歳	8	1				2	1	3	2
55歳	11	1					1	4	6
56歳	7				1		1	2	3
57歳	6					1	3		2
58歳	9	1		1	1	1	1	1	4
59歳	9				2	1	1	4	1
60歳以上	19	1	1	2	3	4	5	3	1
合計	333		1	3	9	9	30	60	221
うち女性消防団員	17	17			1	1	1	3	11

(4) 消防団消防機庫の状況

(R5-4-1)

分 団 名		構 造	建築面積	建築年月日
★機 動 分 団		大手町3丁目3番1号	鉄骨防火サイディング 鋼板折板葺	72.36㎡ H31.3.1
★下 松 分 団		中市1丁目3番15号	鉄骨モルタル S型スレート葺	27.00㎡ S49.9.1
豊井分団	★二宮町部	大字東豊井292番地1	鉄骨モルタル仕上げ 瓦棒葺	22.00㎡ S56.12.17
	豊恋部	大字東豊井545番地1	鉄骨木毛張りカラートタン 瓦棒葺	22.00㎡ S48.7.15
	本浦部	大字笠戸島168番地10	鉄骨プリント鋼板張り 瓦棒葺	22.00㎡ S56.3.31
末武分団	★大海町部	潮音町2丁目810番1	鉄骨鉄板張り 瓦棒葺	42.90㎡ S48.3.31
	平田部	瑞穂町2丁目1番6号	鉄骨カラー鉄板 瓦棒葺	33.00㎡ H5.3.29
	西市部	大字末武下539番地2	鉄骨モルタル仕上げ 瓦棒葺	22.00㎡ S56.9.30
笠戸島分団	★深浦部	大字笠戸島953番地14	鉄骨造り 折板葺	33.00㎡ H8.1.12
	江の浦部	大字笠戸島字笠戸島171番1	鉄骨カラートタン 瓦棒葺	33.00㎡ H9.3.28
花岡分団	★花岡部	大字末武上1239番地4	鉄骨鉄板張り 瓦棒葺	19.80㎡ S63.2.20
	生野屋部	生野屋西1丁目5番14号	鉄筋カラー鋼板 鋼板折板葺	28.98㎡ H28.12.28
	中村部	清瀬町2丁目255-5の一部	鉄骨防火サイディング 折板葺	27.06㎡ H21.8.10
久保分団	★久保市部	大字河内753番地3	鉄骨モルタル仕上げ 瓦棒葺	22.00㎡ S58.3.31
	切山部	大字河内793番地16	鉄骨モルタル仕上げ 瓦棒葺	22.00㎡ S58.3.31
	大河内部	大字河内194番地4	鉄骨鉄板張り 瓦棒葺	22.00㎡ H2.3.31
米川分団	★下谷部	大字下谷169番地5	木造カラー鉄板 大波スレート葺	21.84㎡ S46.11.30
	赤谷部	大字下谷280番地	鉄骨鉄板張り 瓦棒葺	22.00㎡ S61.1.6
	大藤谷部	大字大藤谷459番地1	軽量鉄骨鉄板張り 瓦棒葺	15.40㎡ S62.1.17
女 性 分 団		大手町3丁目3番1号	鉄骨防火サイディング 鋼板折板葺	72.36㎡ H31.3.1

★印の拠点機庫に救助用資機材一式(中ハンマー、バール、ジャッキ、つるはし、チェーンブロック、万能斧、ロープ、ナイロンスリング、エンジンカッター、チェーンソー)及び発電機一式(三脚、コードリール、投光器含む) 配備

※機動分団及び末武分団大海町部機庫に救助用ゴムボート配備

(5) 消防団車両等一覧表

普通消防ポンプ自動車

(R5-4-1)

分 団 名	登録番号	車 種	排気量(L)	定員 (人)	級別		登録年月
機動分団	山口800 す3656	いすゞ エルフ	D2.99	6	A2		H27.1
下松分団	山口800 す7985	トヨタ 3BF-TRY230	D1.99	6	A2		R5.3

小型動力ポンプ付積載車

分 団 名	登録番号	車 種	排気量(L)	定員 (人)	小型動力 ポンプ 級 別	小型ポンプ (最大出力)	登録年月	
豊井分団	二宮町部	山口800 す1831	日産 アトラス	1.99	8	B3	トーハツ 30kW	H23.9
	豊恋部	山口800 す5215	日産 アトラス	1.99	8	B3	トーハツ 22kW	H29.10
	本浦部	山口800 さ8520	日産 アトラス	1.99	8	B3	トーハツ 30kW	H18.3
末武分団	大海町部	山口800 す1386	日産 アトラス	1.99	8	B3	ラビット 32kW	H22.10
	平田部	山口800 す3513	日産 アトラス	1.99	8	B3	トーハツ 22kW	H26.10
	西市部	山口800 す4764	日産 アトラス	1.99	8	B3	シバウラ 32kW	H28.12
笠戸島分団	深浦部	山口800 す7529	いすゞ エルフ	2.99	8	B3	トーハツ 22kW	R4.3
	江の浦部	山口800 す3044	日産 アトラス	1.99	8	B3	ラビット 32kW	H25.12
花岡分団	花岡部	山口800 す 817	日産 アトラス	1.99	8	B3	トーハツ 30kW	H21.11
	生野屋部	山口800 す5931	日産 アトラス	1.99	8	B3	シバウラ 32kW	H31.1
	中村部	山口800 す7062	日産 アトラス	1.99	8	B3	シバウラ 32kW	R3.2
久保分団	久保市部	山口800 す 262	日産 アトラス	1.99	8	B3	トーハツ 30kW	H20.10
	切山部	山口800 さ9294	日産 アトラス	1.99	8	B3	ラビット 34kW	H19.3
	大河内部	山口800 す6362	日産 アトラス	1.99	8	B3	トーハツ 22kW	R1.11
米川分団	下谷部	山口800 す4078	日産 アトラス	1.99	8	B3	トーハツ 22kW	H27.10
	赤谷部	山口800 さ9909	日産 アトラス	1.99	8	B3	ラビット 33kW	H20.3
	大藤谷部	山口880 あ 991	ダイハツ ハイゼット	0.65	4	B3	ラビット 32kW	H25.1

防災活動車

女性分団	山口880 あ1194	日産 クリッパー	0.65	4			H26.12
------	----------------	----------	------	---	--	--	--------

そ の 他

1 応援協定の締結状況

- 業務協定
昭和29年10月1日 下松警察署
平成26年4月1日 徳山海上保安部
- 緊急消防援助隊要綱制定（消防庁）
平成7年10月30日
- 消防応援に関する協定
平成11年6月1日 ㈱日立製作所笠戸事業所・東洋鋼鈑㈱下松事業所・㈱新笠戸ドック
- 携帯電話等からの転送等に関する協定
平成15年4月21日 下松市、防府市、周南市
- 火災調査等にかかる消防相互応援協定
平成15年4月21日 下松市・防府市・周南市・光地区消防組合・柳井地区広域消防組合
- 「母体・新生児救急搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定
平成24年4月1日 県下8市4組合
- 山口県内広域消防相互応援協定
平成24年4月1日 県下13市6町4組合
- 山口県消防防災ヘリコプター応援協定（運航開始平成12年5月24日）
平成24年4月1日 山口県・県下13市6町4組合
- 中国自動車道及び山陽自動車道における消防相互応援協定
平成24年4月1日 県下10市3組合
- 鉄道災害時の安全対策に関する覚書
平成24年6月29日 西日本旅客鉄道株式会社・県下12消防本部
- 下松市の救急業務に対する救急救命処置の指示等に関する協定
- 病院研修協定書の契約書への変更及び締結
平成25年4月1日 徳山中央病院・周南記念病院
- 下松市の救急業務に対する救急救命処置の指示等に関する契約書の締結
平成25年4月1日 下松中央病院
- 災害時における応急対策業務に関する協定
平成27年6月23日 全国クレーン建設業協会山口県支部
- 消防職団員特定接種の接種体制に関する覚書
平成28年8月4日 周南記念病院
- 大規模災害発生時における警察署代替施設としての消防庁舎活用に関する協定
平成30年8月1日 下松警察署
- エボラ出血熱患者の移送に関する協定
令和5年6月23日 山口県周南環境保健所

2 下松市防火委員会組織と現況

会 長	下松市消防長
副会長	下松慈光幼稚園園長

(R5-7-1)

役 職 名	役 員 名
委 員	下松慈光幼稚園園長
〃	末光幼稚園園長
〃	花の子保育園園長
〃	市立花岡小学校教諭
〃	笠戸島分団分団長
〃	米川分団分団長
監 事	下松市教育委員会指導主事
〃	消防本部総務課長
事務局長	〃 予防課長
書記	〃 予防課長補佐
会計	〃 予防課広報指導係長

○少年消防クラブの現況

ク ラ ブ 名	クラブ員数
花岡小学校少年消防クラブ	131

○幼年消防クラブの現況

ク ラ ブ 名	クラブ員数
下松慈光幼年防火クラブ	39
末光幼稚園幼年防火クラブ	112
花の子保育園幼年防火クラブ	27